

2026年度版

山形県内の 医師臨床研修 専門研修

臨床研修

山形大学医学部附属病院	4
山形県立中央病院	6
山形市立病院済生館	8
済生会山形済生病院	10
山形県立新庄病院	12
米沢市立病院	14
公立置賜総合病院	16
日本海総合病院	18
鶴岡市立荘内病院	20

専門研修

専門研修基幹施設	22
専門研修プログラム	29

飛島



庄内二次医療圏

：臨床研修病院(基幹型)

①～⑨：協力型(数字は元となる基幹型病院を示す)

①～⑨：臨床研修協力施設(数字は元となる基幹型病院を示す)

数字については3ページ参照

最上二次医療圏

県立新庄病院①

寒河江市立病院①

県立河北病院①②⑦

北村山公立病院①

秋野病院①

村山二次医療圏

東北中央病院①

国立病院機構山形病院①

県立中央病院①

済生会山形済生病院①

千歳篠田病院①⑨

山形市立病院済生館①

至誠堂総合病院①

篠田総合病院①

山形さくら町病院①②④

若宮病院①

山形大学医学部附属病院⑤⑧⑨

二本松会かみのやま病院①④

みゆき会病院①

石巻赤十字病院(宮城)①
福島県立医科大学附属病院(福島)⑤
福島県立医科大学会津医療センター附属病院(福島)⑤
宇治徳州会病院(京都)⑦
南部徳州会病院(沖縄)⑦
水戸済生会総合病院(茨城)⑨
栃木県済生会宇都宮病院(栃木)⑨

公立高阜病院①⑧

三友堂病院①⑤

米沢市立病院①⑧

国立病院機構
米沢病院⑤①

置賜二次医療圏

日本海酒田リハビリテーション病院③

日本海総合病院①

庄内余目病院⑦

鶴岡市立荘内病院①⑧

鶴岡協立病院①⑦

県立こころの医療センター
①②③⑥⑦

白鷹町立病院①②④⑨

小国町立病院①⑤⑧

公立置賜総合病院①⑤⑦

	基 幹 型	協 力 型	臨 床 研 修 協 力 施 設
1	山形大学医学部附属病院	① - 国立病院機構山形病院 - 県立河北病院 - 県立新庄病院 - 公立置賜総合病院 - 鶴岡市立荘内病院 - 日本海総合病院 - 寒河江市立病院 - 済生会山形済生病院 - 東北中央病院 - 三友堂病院 - 篠田総合病院 - みゆき会病院 - 鶴岡協立病院 - 県立こころの医療センター - 秋野病院 - 千歳篠田病院 - 山形さくら町病院 - 公立高畠病院 - 白鷹町立病院 - 小国町立病院 - 山形市立病院済生館 - 米沢市立病院 - 県立中央病院 - 北村山公立病院 - 若宮病院 - 石巻赤十字病院(宮城) - 二本松会かみのやま病院	① ・村山保健所(山形市) ・やまがた健康推進機構(山形市) ・朝日町立病院(朝日町) ・最上町立最上病院(最上町) ・町立真室川病院(真室川町) ・町立金山診療所(金山町) ・公立置賜長井病院(長井市) ・公立置賜南陽病院(南陽市) ・国立病院機構米沢病院(米沢市) ・至誠堂総合病院(山形市)
2	県立中央病院	② - 県立河北病院 - 県立こころの医療センター - 山形さくら町病院	② ・村山保健所(山形市) ・町立金山診療所(金山町) ・日本海八幡クリニック(酒田市) ・最上町立最上病院(最上町) ・西川町立病院(西川町) ・白鷹町立病院(白鷹町) ・山形県赤十字血液センター(山形市)
3	日本海総合病院	③ - 県立こころの医療センター - 日本海酒田リハビリテーション病院	③ ・庄内保健所(三川町) ・山形県赤十字血液センター(山形市) ・本間病院(酒田市) ・岡田内科循環器科クリニック(酒田市) ・ほんまクリニック(酒田市) ・山容病院(酒田市・申請中) ・日本海八幡クリニック(酒田市) ・(地独)那覇市立病院(沖縄) ・さかい往診クリニック(酒田市) ・おおたきこどもクリニック(酒田市) ・酒井醫院(酒田市) ・広域紋別病院(北海道・申請中)
4	山形市立病院済生館	④ - 二本松会かみのやま病院 - 二本松会山形さくら町病院	④ ・朝日町立病院(朝日町) ・白鷹町立病院(白鷹町)
5	米沢市立病院	⑤ - 山形大学医学部附属病院 - 福島県立医科大学附属病院(福島) - 公立置賜総合病院 - 福島県立医科大学会津医療センター附属病院(福島) - 国立病院機構米沢病院 - 三友堂病院	⑤ ・置賜保健所(米沢市) ・小国町立病院(小国町) ・山形県赤十字血液センター(山形市)
6	県立新庄病院	⑥ 県立こころの医療センター	⑥ ・最上保健所(新庄市) ・町立真室川病院(真室川町) ・大蔵村診療所(大蔵村) ・最上町立最上病院(最上町) ・戸沢村中央診療所(戸沢村)
7	鶴岡市立荘内病院	⑦ - 県立こころの医療センター - 公立置賜総合病院 - 庄内余目病院 - 宇治徳州会病院(京都) - 南部徳州会病院(沖縄) - 県立河北病院	⑦ ・鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院(鶴岡市) ・庄内保健所(三川町) ・上野ファミリークリニック(鶴岡市) ・鶴岡協立病院(鶴岡市)
8	公立置賜総合病院	⑧ - 山形大学医学部附属病院 - 米沢市立病院 - 鶴岡市立荘内病院	⑧ ・置賜保健所(米沢市) ・公立置賜南陽病院(南陽市) ・小国町立病院(小国町) ・公立置賜長井病院(長井市) ・公立高畠病院(高畠町) ・朝日町立病院(朝日町)
9	済生会山形済生病院	⑨ - 山形大学医学部附属病院 - 千歳篠田病院 - 水戸済生会総合病院(茨城) - 栃木県済生会宇都宮病院(栃木)	⑨ ・介護老人保健施設フローラさいせい病院(山形市) ・白鷹町立病院(白鷹町) ・佐藤眼科医院銅町クリニック(山形市) ・特別養護老人ホームながまち荘(山形市) ・済生会岩泉病院(岩手) ・済生会小樽病院(北海道)

病院の概要

令和7年4月1日現在

病 院 長	土谷 順彦
病 床 数	637床【一般601／精神36】
診 療 科 目	内、精、循、小、外、整、脳、心、皮、泌、産、婦、 眼、耳、放、歯口、麻、形、リ、病、救
医 師 数	408名
指 導 医 数	176名
年間入院患者数	13,721名（令和6年度）
年間新外来患者数	17,451名（令和6年度）
救急患者受入人数	7,136名（令和6年度）



病院の特徴

●特徴

病床数は637床で、第3次救急医療機関として指定を受け、東北地区の国立大学法人附属病院の中ではトップクラスの1日に6～7台の救急車を受け入れています。高度先進医療としての承認は20件あり、遺伝子を基にしたオーダーメイド医療(ゲノム医療)の実現を目指しており、国から「がんゲノム医療拠点病院」の指定を受けています。また、「東日本重粒子センター」において重粒子線治療を開始しており、国の指針である「最先端医療技術の海外展開」にリンクし、国内および海外医療施設と医療・技術両面の人材育成や共同研究を行っています。

●主な学会認定施設の状況

- ・日本内科学会認定医制度教育病院
- ・日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本小児科学会小児科専門医制度研修施設
- ・日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設 他

※他各種認定施設等一覧については下記URLをご参照ください。

<https://www1.id.yamagata-u.ac.jp/MIDINFO/outline/oce-facil.html>

指導医メッセージ

山形大学医学部附属病院は、研修医が臨床研修を行う上で理想的な環境があると考えております。院内には各専門の医師がおり、常に専門の垣根なく議論をしながら医療を進めていくプロセスに参加することができます。大学病院卒後臨床研修センターでは研修医の研修だけでなく、生活面、待遇面など様々な要望を汲み上げる仕組みを作り、多くの成果を上げております。

研修医の皆さんに是非取り組んでほしいことを挙げます。

上級医の技術、論文、学会と多くの見聞に触れて、多くの知識を得てください。見るだけでなく自分でやることで自分の技術として下さい。誰かに教えることで自分の知識として下さい。主治医として責任を持って議論に参加して下さい。研修医の皆さんには、学術や生活のことなど、より良い研修環境は誰かに与えられるものではなく、皆さんの取り組みによっても大きく変わっていくものであることをぜひ知って頂ければと思います。皆さんの新しい力が、当院の医療をより良くする力になってくれることを期待しています。

研修医（2年目）

当院のプログラム最大の特徴は、大学病院と市中病院の両方を経験できる点にあります。大学病院では、専門性の高い最先端の医療に触れ、複雑で高度な症例に対して深い洞察を得ることができます。一方、市中病院では、幅広い患者層に対応する中で実践的な診療力や迅速な判断力が養われます。この2つの異なる環境を経験することで、理論的思考と臨床的実践のバランスを兼ね備えた医師に成長できるでしょう。また、当院のように多職種が揃った病院では、チーム医療を通じて各職種への理解が深まり、連携の重要性を実感できます。こうした経験は、単なる技術的成長にとどまらず、医師としての人間力を高める貴重な機会になります。

そしてなにより、同期の数が県内最多であり、切磋琢磨できる環境にあります。互いに刺激し合いながら共に成長できる仲間がいることは、日々の研修において大きな励みとなるでしょう。理想の医師像を追求する中で、当院のプログラムは自ずと優れた選択肢になるはずです。みなさんと一緒に働ける日を研修医一同、心より楽しみにしています。

研修の概要

- ・ 基本的な診療能力の獲得：First AidとPrimary Care
- ・ たすき掛け研修（必修科、希望科とも大学病院と協力型臨床研修病院の両方で研修可能）
- ・ 充実した指導・教育体制
- ・ 研修に最適な環境・設備（最先端の医療機器、レジデントハウス、24時間保育所等）

●研修スケジュール例

山形大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラムA

1年目・順不同				2年目・順不同							
内科	内科	救急	希望科	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	希望科	希望科	希望科
(大学・協力病院)				(大学・協力病院)							
3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	3ヶ月

特色：必修分野以外についてはすべて自由選択科目とすることにより、早い時期から将来専門とする診療科を中心に関連の診療科での研修を行うことができるプログラムである。

山形大学医学部附属病院卒後臨床研修 外科重点コース

1年目・順不同				2年目・順不同						
外 科	内 科	内 科	救 急	地域医療	小児科	産婦人科	精神科	外 科		希望科
(大学・協力病院)				(大学・協力病院)						
3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	6ヶ月		2ヶ月

特色：将来外科を専門とする人のためのコースで、1年目については、原則最初の3ヶ月間で外科を研修した後、必修分野を研修する。2年目については、研修終了後を見据えて、その研修期間の殆どを外科の研修に充てることができるプログラムである。

※重点コースについては、外科のほかに、救急・麻酔重点コース、小児科重点コース、産科婦人科重点コース、地域医療重点コースがあります。

●協力型病院

国立病院機構山形病院、山形県立河北病院、山形県立新庄病院、山形県立中央病院、公立置賜総合病院、鶴岡市立荘内病院、寒河江市立病院、山形市立病院済生館、米沢市立病院、日本海総合病院、済生会山形済生病院、東北中央病院、三友堂病院、篠田総合病院、みゆき会病院、鶴岡協立病院、山形県立こころの医療センター、秋野病院、千歳篠田病院、二本松会山形さくら町病院、公立高畠病院、白鷹町立病院、小国町立病院、石巻赤十字病院、北村山公立病院、若宮病院、かみのやま病院

●協力施設

朝日町立病院、町立金山診療所、町立真室川病院、最上町立最上病院、公立置賜長井病院、公立置賜南陽病院、国立病院機構米沢病院、至誠堂総合病院、村山保健所、やまがた健康推進機構

●研修医受入人数（令和7年度） 1年目：17名 2年目：23名

●研修修了後の進路（令和5年度採用研修医）

当院で後期研修9人、日本海総合病院1人、埼玉医科大学総合医療センター1人、立川相互病院1人、磐田市立総合病院1人、山形市立病院済生館2人

処 遇

給 与	基本給：320,000円(臨床研修手当含む) 年間概算支給見込額：3,960,000円(初年度)
手 当	退職手当有、各種保険有、講習会等参加費・学会及び研究会に係る旅費等の支給制度あり
宿 日 直	2～3回／月
宿 舎	研修医専用のレジデントハウスを利用可



募集要項

募 集 定 員	49名(令和7年度)
募 集 方 法	公募
選 考 方 法	面接・試問
募 集 期 間	卒後臨床研修プログラムをマッチングに公開し、全国から募集
必 要 書 類	研修医採用申請書
病 院 見 学	随時受け付けておりますので、e-mailまたは電話でご希望の日時をご連絡ください。
連 絡 先	山形大学医学部附属病院 総務課卒後臨床研修担当 TEL：023-628-5017 FAX：023-628-5019 E-mail：yu-sotsugo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



山形県立中央病院

〒990-2292 山形市大字青柳1800番地 <https://www.ypch.gr.jp/>

病院の概要

令和7年4月1日現在

病 院 長	鈴木 克典
病 床 数	609床【一般607／感染2】
診 療 科 目	内、呼内、血内、糖内、腎内、消内、循内、感内、腫内、心内、精、脳内、小、新内、外、整、リハ、形、脳外、呼外、心外、消外、乳外、小外、皮、泌、産婦、眼、頭耳、放、歯口、麻、病理、救、緩和
医 師 数	194名
指 導 医 数	122名
年間入院患者数	14,169名（令和6年度）
年間新外来患者数	19,649名（令和6年度）
救急患者受入人数	9,332名（令和6年度）



病院の特徴

●特徴

がん・生活習慣病センター、救命救急センター、総合周産期母子医療センターを付置した総合医療センターを形成しています。山形県の基幹病院として高度先進医療、3次救急医療、生活習慣病の予防・悪性腫瘍の早期発見、周産期医療まで幅広い診療活動を行っています。

また、当院を基地とするドクターヘリを運航しており、救急医療における救命率の向上に貢献しています。

●主な学会認定施設の状況

- ・日本内科学会認定医制度教育病院
- ・日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本小児科学会専門医制度研修施設
- 他

※他の各種認定施設等については下記URLをご参照ください。

<https://www.ypch.gr.jp/medical/about/recognition/>

病院長メッセージ

鈴木 克典

当院は、高度急性期病院としての医療を地域に届けようと日々努力しています。皆様にとって、魅力のある様々な研修内容を提供できと思っています。

また、医学的知識や技術はもちろんのこと、多くの患者さんと接する中で、人間性を磨き、大きく成長できる環境でもあります。

研修医コメント

久保木 剛

当院の初期研修の特徴を端的に表すなら、「ローテーション選択の自由度の高さ」と「充実したサポート体制」にあります。

また、三次医療機関であり、軽症から重症まで幅広い症例が各診療科に集まります。

どなたでも充実した研修生活を送ることができる環境です。ぜひ一度、見学にお越しください。研修医一同、心よりお待ちしております！

研修の概要

当院は県立中央病院として山形県全体の医療の中心的役目を担っており、病院の規模としては決して大きくありませんが、その分種々の機能が集約され、幅広い診療項目を実地的にいろいろな角度から身につけていけることが挙げられます。

また、現在の臨床研修制度が始まる以前から初期研修医に対する多科ローテーション方式を採用しており、研修医の指導体制が安定しています。

●研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						麻酔科		救急科		小児科	産婦人科
2年次	外科	精神科	地域医療	自由選択								

●協力型病院

山形県立河北病院、山形県立こころの医療センター、二本松会さくら町病院

●協力施設

白鷹町立病院、西川町立病院、日本海八幡クリニック、最上町立最上病院

●研修医受入人数（令和7年度） 1年目：16名 2年目：16名

●研修修了後の進路

当院は3年目以降の専門研修プログラムとして、「内科」「外科」「救急科」「麻酔科」を基幹病院として設置しています。臨床研修修了後はこのプログラムを選択し、引き続き専攻医として専門研修を行うことが可能となっています。

また、各大学の専門研修プログラムを基幹病院として選択した上で、3年目以降も専攻医として、引き続き当院で研修を行うという研修医も多くいます。

処 遇

給 与	基本給：405,304円(初年度) 年間概算支給見込額：7,000,000円(初年度)
手 当	期末手当、退職手当、時間外手当有
宿 日 直	宿日直手当有
宿 舎	敷地内に研修医用の公舎あり



研修医会の様子

募集要項

募 集 定 員	16名(自治医大生を含む)
募 集 方 法	公募
選 考 方 法	面接、小論文
募 集 期 間	令和7年6月上旬～7月下旬
必 要 書 類	選考申込書、履歴書、成績証明書
病 院 見 学	随時受け入れ可能
連 絡 先	山形県立中央病院 総務課 伊東 Tel：023-685-2626(代) Fax：023-685-2601 E-mail：lib@ypch.gr.jp



山形市立病院済生館

〒990-8533 山形市七日町一丁目3番26号 <https://www.saiseikan.jp/>

病院の概要

令和7年4月1日現在

病 院 長	貞弘 光章
病 床 数	528床【一般528】
診 療 科 目	消、呼、循、糖・内分泌、腎、血、精、神内、小、皮、外、内外、消外、血外、乳外、整、脳外、脳放、リハ、泌、産婦、眼、耳、形成、病理、救、歯、歯口
医 師 数	97名
指 導 医 数	46名
年間入院患者数	11,267名（令和6年度）
年間新外来患者数	17,409名（令和6年度）
救急患者受入人数	14,254名（令和6年度）



病院の特徴

●特徴

当館は、平成15年度に山形県では初めて「地域医療支援病院」の承認を受け、地域における第一線の医療機関である“かかりつけ医”を支援するとともに、他の医療機関との適切な役割分担と連携を図っております。

当館の性格として、市民のあらゆるニーズに応えることが義務付けられています。日常の診療では紹介患者さんを中心とした診療を、救急診療では1・2次救急患者の受入れを積極的に行っていますので、各科専門医の指導のもと、専門的な治療はもちろん、より実践に即した研修を行うことができると考えます。

●主な学会認定施設の状況

日本眼科学会専門医研修施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本呼吸器学会認定施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本消化器病学会専門医研修施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本脳神経外科学会専門医訓練施設、日本脳卒中学会認定研修教育施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本皮膚科学会専門医研修施設、日本麻酔科学会認定病院、日本外科学会外科専門医修練施設、日本小児科学会専門医研修施設、日本腎臓学会研修施設、日本内科学会内科領域専門研修プログラム期間施設 他

指導医メッセージ

◎臨床研修センター室長：黒木実智雄

「頼りがいのある医師」としての土台作りをお手伝いします。

当院では、より実践的な研修を皆さんに提供します。目の前の患者さんに対して、全人的にしっかりと診て真摯に対応できる医師を目指していただきます。我々指導医も、これまでの長年にわたる研修病院としての実績に驕ることなく、より良い研修生活を送ってもらえるよう努力を惜しみません。「頼りがいのある医師」を目指す皆さんと、当院で一緒に働けることを楽しみにしています。

研修医コメント

当院の特徴は豊富な症例に直接触れることができる点にあると考えます。Common Diseaseから重傷疾患まで様々な病態の診療にあたることができます。特に救急車の受け入れ台数は地域トップクラスであり、1年目からその初期対応に携わります。実践的な経験の中で徐々にステップアップできる環境が整っていると感じています。また、山形市の中心部に位置し、県内・県外へのアクセスも良く研修中に生活で困ることはありません。ぜひ、病院見学で実際の雰囲気を経験してみてください。

研修の概要

- ◎希望診療科研修が長くとれる自由度の高いプログラム
- ◎熱意溢れる指導医によるマンツーマン指導体制
- ◎「どんな患者さんが来ても困らない」豊富な症例で、プライマリケア、ファーストエイドの習得と的確な判断能力を身につけられる救急研修システム

●研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	呼内		循内		消内		救急	麻酔	小児		選択	
2年次	産婦	精神	地域	外	選択							

- ・1年次は、内科は内科系5科（消化器、呼吸器、循環器、内科（腎臓、血液）脳神経）から8週以上の組み合わせで24週以上、救急麻酔（各4週）を基本研修とする。
- ・精神科（かみのやま病院または山形さくら町病院で4週）、地域医療（朝日町立病院または白鷹町立病院で4週）の必修科研修は2年次に行う。
- ・産婦人科、外科および小児科は各4週以上（ローテーションは1年次でも2年次でも可）を必修とする。

●協力型病院

二本松会かみのやま病院、二本松会山形さくら町病院

●協力施設

朝日町立病院、白鷹町立病院

●研修医受入人数（令和7年度） 1年目：9名 2年目：9名

●研修修了後の進路

当院で後期研修、山形大学医学部附属病院、東北医科薬科大学病院、
東北大学病院、筑波大学附属病院、横浜市立大学附属病院、山形県こころの医療センター 等

処 遇

給 与	基本給：1年次422,083円 2年次 433,836円 （賞与は別途支給）（税込、手当は含まない） 年間概算支給見込額：（固定給＋実績手当等含む）： 1年次 約730万円 2年次 約830万円
手 当	通勤手当、住居手当、当直手当、時間外勤務手当 等
宿 日 直	月4回
宿 舎	無



募集要項

募 集 定 員	10名(令和7年度)
募 集 方 法	公募
選 考 方 法	面接
募 集 期 間	令和7年7月下旬から8月下旬まで5回程度実施予定
必 要 書 類	選考試験受験申込書、履歴書
病 院 見 学	随時受け入れをしておりますので、病院ホームページの専用フォームからお申し込みください。
連 絡 先	山形市立病院済生館 管理課企画調整係 石井 TEL：023-625-5555 FAX：023-642-5080 E-mail：kensyu@saiseikan.jp



病院の概要

令和7年4月1日現在

病 院 長	石井 政次
病 床 数	459床【一般459】
診 療 科 目	整形外科、内科（循環器・呼吸器・消化器・神経・糖尿病／内分泌・腎臓／透析）、産婦人科、外科・乳腺外科、小児科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、皮膚科、形成外科、耳鼻咽喉科、眼科、リウマチ、リハビリテーション
医 師 数	67名
指 導 医 数	37名
年間入院患者数	11,643名（令和6年度）
年間新外来患者数	14,396名（令和6年度）
救急患者受入人数	4,375名（令和6年度）



病院の特徴

●病院の沿革と診療について

山形県唯一の公的医療機関として、済生会設立の本旨である無料低額診療などの福祉医療をはじめ、村山二次医療圏の中核的病院として高度・急性期医療を中心に地域医療を担っています。「患者さん中心の医療の実践」を基本方針として掲げ、「トータルケアの考えに基づいた疾病予防、治療、在宅医療まで継続した医療の提供」等の中長期の目標として職員一同研鑽に励んでいます。

●当院の診療科の特色

【整形外科】当院の整形外科の特色として、伝統的に人工関節の手術が非常に多く、人工股関節、人工膝関節ともに年間400件以上行われています。これは県内随一であるのみならず全国でも上位10施設に入る実績であり、関節外科医の修練の場にもなっています。

【産婦人科】分娩数は年間700件近くの分娩を扱っています。周産期センターを中心として、ハイリスク妊婦・分娩・産褥管理を行い、ほぼすべての疾患にも対処できるようにしています。

不妊治療に関しては、体外受精を含めた高度生殖補助医療も行っています。

臨床研修プログラム責任者メッセージ

副院長 磯部 秀樹

当院の魅力は、指導医とのマンツーマン的な体制のもと、探究的な研修を行うことができることです。また、全国組織の済生会病院の特徴を生かして、他県での専門科研修や地域医療研修を行うことができます。こうした研修で視野を広げ、他病院の研修医との交流を深めてみませんか。

初期研修医コメント

2年次 鷹野 公威

臨床研修は、医師としてのキャリアをスタートさせる上で、非常に重要な時期です。当院には熱心な指導医の先生方がおり、充実した研修生活を送ることができる環境が整っています。ぜひ私たちと一緒に、医師としての第一歩を踏み出しましょう。

研修の概要

- ・必修分野は内科24週以上、救急部門は12週以上、外科、小児科、産婦人科、精神科は4週以上とし、一般外来での研修を含める。救急部門は1年次、地域医療は2年次に研修を行う。
- ・救急部門は外科に所属し、救急医療に関する知識・手技の修得、HCUで研修を行い、救急外来での研修も行う。救急外来での研修は2年間を通じて行うものとする。
- ・1名の研修医に対し1名の指導医が担当するマンツーマン形式であるため、指導医と研修医のコミュニケーションがとりやすく、円滑な研修を行う事が出来る。
- ・希望者は、同じ済生会グループである済生会宇都宮病院（救急・麻酔・選択）、水戸済生会総合病院（救急・麻酔・選択）、済生会小樽病院（地域医療）での研修を行う事が出来る。

●研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	選択科(8週)※		内科(12週)			救急(12週)			外科(4週)	小児(4週)	産婦(4週)	精神(4週)
2年次	内科(12週)			地域(4週)	選択科(32週)							

※1年次の初期2週間はオリエンテーションにあてて。

●協力型病院

山形大学医学部附属病院、千歳篠田病院、水戸済生会総合病院、済生会宇都宮病院、済生会小樽病院

●協力施設

白鷹町立病院、済生会岩泉病院、介護老人保健施設フローさいせい、特別養護老人ホームながまち荘、佐藤眼科医院銅町クリニック

●研修医受入人数（令和7年度）基幹型1年次：1名 2年次：4名 協力型2年次：2名

●研修修了後の進路

当院、山形大学、山形県立中央病院、札幌医科大学、福島県立医科大学、慶應義塾大学、千葉大学、獨協医科大学、東京科学大学 など

処 遇

給 与	基本給：約450,000円(初年度) 年間概算支給見込額：600万円程度
手 当	当直手当、時間外手当、住宅手当、通勤手当、 学会参加(助成有)、図書購入助成有
宿 日 直	週1回程度
宿 舎	有：病院敷地内(駐車場完備)



募集要項

募 集 定 員	令和8年研修募集定員：5名
選 考 方 法	面接(7月下旬から9月上旬)・小論文
募 集 期 間	8月末頃までの予定。募集定員に満たない場合は随時受付。
必 要 書 類	履歴書、成績証明書、卒業見込証明書、健康診断書
病 院 見 学	随時受付しております。病院HPの「初期研修」→「医学生病院見学」からお申し込みください。
連 絡 先	社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院 人事課(臨床研修担当)工藤 TEL：023-682-1111 FAX：023-682-0122 E-mail：rin-ken@ameria.org



山形県立新庄病院

〒996-8585 新庄市金沢720番地の1 <http://www.ysh.pref.yamagata.jp/>

病院の概要

令和7年4月1日現在

病 院 長	八戸 茂美
病 床 数	325床【一般321/感染4】
診 療 科 目	内、総診、消内、脳神内、循内、呼内、血内、腫内、腎内、糖内、緩内、小、外、乳外、整、形、脳、皮、泌、産婦、眼、耳、放、麻、救、精、歯、リハ
医 師 数	49名
指 導 医 数	36名
年間入院患者数	5,967名（令和6年度）
年間新外来患者数	14,704名（令和6年度）
救急患者受入人数	11,720名（令和6年度）



病院の特徴

●山形県最上二次保健医療圏唯一の中核病院です

昭和27年の設立以来、「仁・愛・和」を基本理念とする病院憲章の下、高度化、多様化する地域の医療需要に応える努力を積み重ねてきました。

一次から三次医療まで、さまざまな症例の患者の方々が来院され、一部専門領域を除いたほとんどの症例に対応した医療を提供しています。

●救急指定病院として、地域の救急患者のほとんどが搬送されます

1日32.1人、うち救急搬送7.3人（令和6年度平均）の救急患者を受け入れています。消防本部と連携し、地域メディカルコントロール体制の中心として、救急患者の救命率向上に努め、救急救命士の病院実習も積極的に受け入れています。

令和5年10月に新築移転し、最上地域で初の地域救命救急センターを設置し、更にドクターヘリの発着場も敷地内に整備して、迅速な救急医療の提供を可能としています。

病院長よりメッセージ

「医師人生のスタートをどこで始めるか」迷って当然です。

まずは新庄病院に来てみてください。病院に触れ、スタッフに触れ、地域住民に触れ、そしてわずか2年の間に実に多くの疾患を経験したとき、君たちの選択がベストだったことに気づきます。もちろん充実した研修が送れますよう全職員一丸となって応援します。

研修医コメント

山形県4地域のうち、当院は最上地域を担う唯一の中核病院であり、幅広い症例が集まります。

研修医からみた指導医の先生方は、優しく落ち着いた先生が多い印象で、丁寧な指導を受けたい方には最適な環境だと思います。当直は好きな指導医のいる日を選んで見学するところから段階的に始まっていき、希望に合わせて行きます。研修医には研究調査費として年間60万円程割り当てられ、学会参加や書籍・情報機器の購入ができます。

地域一帯の症例が集まるので救急を学びたい方にもおすすめです。ぜひ、一度病院に足を運んでみてくださいね。

研修の概要

- ・充実したスタッフの下、メディカルコントロールをはじめ、一次から高度救急医療まで、救急医療の現場を多数経験できます。
- ・一次から三次医療まで、多種多様な症例を数多く経験することにより、プライマリケアの基本的診療能力が習得できます。
- ・少人数（5人／年）の利点を活かし、研修医の皆さんの希望を最大限尊重したマンツーマンの研修を行います。
- ・可能な限り、自由選択研修を取り入れることにより、将来の専門性も考えた研修を行うことができます。

●研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内 科						救 急			外科	産婦	小児
2年次	小児	精神	地域	自 由 選 択								

※精神科と地域医療は協力型病院・協力施設と調整のうえ2年次に研修を行います。

●協力型病院

〔精神〕山形県立こころの医療センター

●協力施設

〔地域医療〕最上町立最上病院、町立真室川病院、大蔵村診療所、戸沢村中央診療所

〔保健・医療行政〕最上保健所

●研修医受入人数（令和7年度） 1年目：1名 2年目：0名

処 遇

給 与	1年次月額：405,304円(年収約720万円) 2年次月額：421,196円(年収約820万円) ※年収は時間外手当等含めて計算
手 当	住民手当、時間外手当、宿日直手当、期末勤勉手当等
宿 日 直	1年次は副直のみ、月3回程度 2年次は当直、月3回程度
宿 舎	医師公舎(2DK又は3DK有) 民間アパートを借りた場合の家賃補助有



募集要項

募 集 定 員	5名(令和8年度)
募 集 方 法	電話連絡の上、必要書類を選考日3日前まで提出
選 考 方 法	面接
募 集 期 間	令和7年9月上旬(予定)
必 要 書 類	選考申込書、履歴書(写真貼付)、成績証明書
病 院 見 学	随時受入(HP申込フォームよりお申込みください)電話も可。旅費支給有
連 絡 先	山形県立新庄病院 総務課 臨床研修係 TEL：0233-22-5525 FAX：0233-23-2987 E-mail：yshinbyo-shomu1@pref.yamagata.jp



米沢市立病院

〒992-8502 山形県米沢市相生町6番36号 <http://yonezawa-city-hospital.jp/>

病院の概要

令和7年4月1日現在

病 院 長	長岡 明
病 床 数	263床【一般263】
診 療 科 目	循環器内科、消化器内科、小児科、放射線科、外科、 乳腺外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、 泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、 集中治療科、救急科、病理診断科
医 師 数	55名
指 導 医 数	39名
年間入院患者数	7,237名（令和6年度）
年間新外来患者数	14,204名（令和6年度）
救急患者受入人数	12,696名（令和6年度）



病院の特徴

●特徴

当院は、置賜二次保健医療圏の約半数の人口をカバーし、地域の中核病院の役割を担っています。令和5年11月には、当院と市内の民間病院である三友堂病院が機能分化して併設し、新病院が開院し、当院が急性期医療を担い、三友堂病院が回復期医療を担う医療連携体制をスタートさせました。当院は24時間365日救急患者を受け入れる体制となり、更に令和5年12月からは、平日夜間・休日診療機能を救急室内に移転させ、米沢市医師会の協力を得ながら一次救急患者の受入れも始めました。また、地域に幅広い医療を提供するため、公立置賜総合病院や山形大学医学部附属病院のほか、舟山病院、国立病院機構米沢病院、公立高島病院やその他の地域の医療機関と連携し、地域医療体制の確保に努めています。

●主な学会認定施設の状況

日本内科学会 日本循環器学会 日本医学放射線学会 日本外科学会 日本消化器外科学会 日本乳癌学会 日本泌尿器科学会 日本整形外科学会 日本産科婦人科学会 日本眼科学会 麻酔科標榜のための研修施設である麻酔科認定病院 日本病理学会 日本臨床細胞学会 日本がん治療認定医機構 胸部・心臓血管外科・血管外科三学会 日本脈管学会 日本周産期・新生児医学会 日本生殖医療学会 日本消化器内視鏡学会 日本医学放射線学会

プログラム責任者メッセージ

当院は2023年11月1日から新病院が開院し、急性期治療に特化した病院となりました。救急治療や手術、カテーテル検査や内視鏡検査に重点を置き、手術数や検査数が多くなりましたが、研修医数が少ないので、マンツーマンで多くの症例や手技を経験できます。

病院全体がアットホームで、各診療科の垣根が低いのです。また、スタッフは皆優しく親切です。教育に熱心な指導医が揃っており、病院全体で研修医を大切に育てようとする風土がありますので、是非新病院で一緒に働いてください。

米沢は美味しいものも沢山ありますし、歴史と風情のある素敵なところです。宜しくお願いします。

2年次研修医コメント

医学生の皆様こんにちは。私から当院の魅力をお伝えできれば幸いです。

一番の魅力は、先生方やコメディカルの方々と距離が近く、診療科の垣根がない所です。どの科の先生にもすぐに質問でき、また先生方からも多くの手技を経験させていただけます。コメディカルの方からもたくさん教えていただけます。研修医の数が少なく、病院全体で研修医を大切にしている環境があるからだと思います。

救急業務では、Common Diseaseを数多く診ることができ、自信を持って救急外来に立つことができるようになります。たくさんの症例を独り占めでき、着実に実践力を身に付けられます。気になった方は、ぜひ一度見学にいらしてください！待っています。

研修の概要

各診療科の外来診療では、地域の医療機関から様々な疾患に関し多くの紹介受診があります。患者の訴えや診察結果をもとに必要な検査を行い、診断の確定、治療方針の検討などを行います。初診患者の診察にも加わり、上級医の指導のもと診断のプロセスを学ぶことができます。また、救急外来の宿日直業務の補助として、月2～3回程度の当番があり、救急医療の実践的経験を積むこともできます。指導医監督のもと、担当医として診療に当たり、病態を考えながら治療を検討することを学びます。マンツーマンの指導で多くの症例や手技を多く学ぶことができます。

●研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急部門			小児科		産婦人科
2年次	外科		精神科	自由選択		地域医療	自由選択					

●協力型病院

山形大学医学部附属病院 福島県立医科大学附属病院 公立置賜総合病院
三友堂病院 福島県立医科大学会津医療センター附属病院 国立病院機構米沢病院

●協力施設

山形県置賜保健所 山形県赤十字血液センター

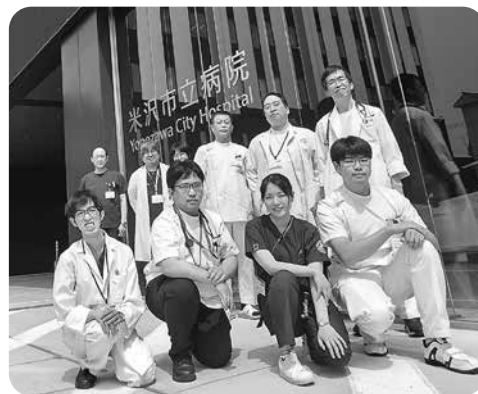
●研修医受入人数（令和7年度） 1年目：1名 2年目：3名

●研修修了後の進路

山形大学附属病院 市中病院 ほか

処 遇

給 与	基本給：1年次 月額411,800円 2年次 月額427,500円 年間概算支給見込額(賞与込み)： 1年次 650～700万円 2年次 750～800万円
手 当	特殊勤務手当、時間外勤務手当、休日手当、宿日直手当、通勤手当、退職手当等
宿 日 直	月4回程度
宿 舎	レジデントハウスあり



募集要項

募 集 定 員	4名(令和7年度)
募 集 方 法	臨床研修マッチング
選 考 方 法	書類審査及び面接
募 集 期 間	マッチング中間公表日まで随時受付
必 要 書 類	臨床研修医採用選考申込書、履歴書、卒業(見込)証明書
病 院 見 学	随時受付
連 絡 先	米沢市立病院事務局総務課 加藤 TEL：0238-22-2450 FAX：0238-22-2876 E-mail：bsoumu-ka@city.yonezawa.yamagata.jp



公立置賜総合病院

〒992-0601 東置賜郡川西町大字西大塚2000番地 <https://www.okitama-hp.or.jp/>

病院の概要

令和7年4月1日現在

病 院 長	江口 英行
病 床 数	470床【一般400／救急20／感染症4／精神46】
診 療 科 目	内、精、神内、消内、循内、小、外、消外、乳外、呼外、整、脳外、心外、皮、泌、産婦、眼、耳、リハ、放、歯口、麻、形、救
医 師 数	102名
指 導 医 数	46名
年間入院患者数	14,161名（令和6年度）
年間新外来患者数	25,223名（令和6年度）
救急患者受入人数	17,803名（令和6年度）



病院の特徴

当院は、置賜地域の高度医療を担う拠点として、隣接する二市二町（長井市・南陽市・川西町・飯豊町）と山形県が協力し、2000年11月から診療を開始した病院です。併設された救命救急センターには、脳卒中、心筋梗塞、頭部損傷等の救急患者に迅速に対応をするため、専門の医師、看護職員が24時間体制で待機し治療にあたっており、広域的な救急搬送体制を確立するためのヘリポートも設置しています。こうしたことから、当院には急性期の受診者が多く、疾患の変化に富んでいます。また、手術件数も多く、基本的な診療能力を身につけるには絶好の条件を備えているといえます。令和7年度には、山形県内初となる国産の手術支援ロボットシステム「hinotori」を導入しております。当院における臨床研修では、将来の専門性にかかわらず、日常診療で遭遇することが多い疾患・病態に迅速で適切に対応できる基本的な診療能力を身につけられるような研修内容としています。

指導医メッセージ

副院長(兼)教育研修部長：仙道 大

当院は、置賜二次医療圏唯一の三次救命救急センターを有し、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、第二種感染症指定医療機関の施設認定を受けており、置賜地域の高度医療を担う中核病院です。救急搬送数は一日平均約12人で多くの症例を経験することができます。また、夜間救急では、周辺地域の患者様のほとんどが当院を受診されますので、一次から三次救急まで様々な症例を経験することができます。さらに、50名程の指導医が在籍しており充実した指導を受けられます。当院は、伝統的に医師同士、研修医同士和気あいあいとしていることが多く病院内の雰囲気は良いと自負しております。病院は美しい田園地帯に囲まれ、遠く風光明媚な山々を望むことができます。ぜひ一度病院見学にいらしてください。お待ちしております。

研修医コメント

臨床研修医：法月 康太

公立置賜総合病院は置賜地域の医療の中心であり、研修中に一次救急から三次救急まで経験できるところが魅力です。初期研修で多くの人が一番気になっているのは救急対応だと思います。当直では初期研修医が初期対応を行い、まずは自分で考えて方針を決定します。夜間であっても上級医にすぐ相談でき、その場でフィードバックも頂けるので、大変研修しやすい環境だと感じています。研修のローテートは自由に選択できる期間が長いので、自分の志望科の期間を長くできますし、研修中に気になった科があればローテートを組み直すことも可能です。休日の当直は各自のスケジュールに合わせて組まれるので、プライベートも充実させている人が多い印象です。私は実際に病院を見学し、自分にあった雰囲気だと思い当院を選びました。文章だけでは伝わらない魅力がまだまだあるので、まずは見学に来てみてください。お待ちしております。

研修の概要

●臨床研修 プログラム名 公立置賜総合病院卒後臨床研修プログラム

- ・全ての研修科目の中から1ヶ月単位で選択することができます。
- ・100名程の常勤医が在籍しており、手厚くきめ細やかなマンツーマンの指導体制の下、他院とは比較にならないほど数多くの手技を経験することができます。

●研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急		外科	小児科	産婦人科	精神科
2年次	地域	自由選択										

※救急科は3ヵ月必修ですが、救命救急センターにおける宿日直業務を研修期間とすることができます。

※ローテーションは順不同です。

●協力型病院

・山形大学医学部附属病院・米沢市立病院・鶴岡市立荘内病院

●協力施設

・置賜保健所・公立置賜長井病院・公立置賜南陽病院・公立高畠病院・小国町立病院・朝日町立病院

●研修医受入人数（令和7年度） 1年目：8名 2年目：9名

●研修修了後の進路

当院（専攻医）、山形大学など

処 遇

給 与	1年次月額405,304円(年額約730万円) 2年次月額421,196円(年額約880万円) ※年額は時間外勤務手当、宿日直手当等を含んだ額です。
手 当	通勤手当、時間外勤務手当、期末・勤勉手当、宿日直手当、退職手当等
宿 日 直	4回程度／月(指導医のもと宿日直を行う)
宿 舎	レジデントハウス



レジデントハウス

募集要項

募 集 定 員	10名(うち地域医療重点プログラム1名)
募 集 方 法	公募
選 考 方 法	面接試験及び成績証明書による書類選考
募 集 期 間	令和7年8月中旬まで(予定)
必 要 書 類	臨床研修医申込書・履歴書(写真添付)・成績証明書
病 院 見 学	随時受け付けています。詳しくはホームページをご覧ください。
連 絡 先	公立置賜総合病院 総務課職員係 TEL : 0238-46-5000 FAX : 0238-46-5711 E-mail : soumu@okitama-hp.or.jp



病院の概要

令和7年4月1日現在

病 院 長	橋爪 英二
病 床 数	590床【一般586／精神4】
診 療 科 目	内、循内、消内、内視鏡内、精、神内、小、緩和ケア内、外、乳外、小外、整、形、リハ、脳外、心外、呼外、皮、泌、産婦、眼、耳、放、麻、救、歯口、病理診断科
医 師 数	166名
指 導 医 数	62名
年間入院患者数	14,967名（令和6年度）
年間新外来患者数	26,397名（令和6年度）
救急患者受入人数	19,608名（令和6年度）



病院の特徴

●特徴

急性期医療を基本とした診療体制を構築しており、外傷初期診断に対する外傷チーム、急性循環器疾患に対する診療チーム、消化器内科によるESD治療の先駆的活動及び豊富な症例、遠隔画像診断による夜間休日の画像診断サポート体制などが挙げられます。

また、臨床病理検討会や勉強会の開催など研修体制も充実しています。

●主な学会認定施設の状況

最新情報はこちらから → <https://www.nihonkai-hos.jp/hospital/information/training-facility.html>

病院長メッセージ

病院長 橋爪 英二

当院は2008年4月に山形県立日本海病院と酒田市立病院が統合再編し、急性期医療の日本海総合病院と、回復期医療の日本海酒田リハビリテーション病院の2つの病院に、2018年4月より酒田市から移管統合された日本海八幡クリニック及び市内5診療所が加わり日々の診療を行っております。庄内地方で唯一の救命救急センターを有し、またPETセンター、ハイブリット手術室、低侵襲手術支援ロボットダヴィンチサージカルシステム等、高度先進医療にも取り組んでおります。実践主義のもと、多岐にわたる豊富な症例を経験することができます。意欲のある皆様をお待ちしております。

研修医コメント

初期研修医 菅原 拓海

当院は実践主義の理念の下、豊富な症例を経験することができる山形県庄内地域の中核病院です。

志望科に関わらず様々な手技を実践する環境が整っているため、初期研修で抑えるべき手技は早くから習得することができます。また、当院は3次救急医療機関であり、ファーストタッチは研修医が行いますが、上級医や各科当番医にコンサルタントしやすい環境が整っており、実践的な経験を積みながら安心して診察を行うことができます。

福利厚生は非常に充実しており綺麗なレジデントハウスと研修医室で快適に研修を行うことができます。コメディカルや上級医との距離が近いのも当院の特徴です。

研修の概要

研修医の希望を叶えるため、自由選択研修を最大限に確保。研修医の多様性に配慮し、研修医と指導医が協議してカリキュラムを決定しています。

北庄内の中核病院として非常に多くの症例が集中しており、救命救急センターにより、さらに多くの症例経験が可能となります。また、気象条件や生活習慣が異なる沖縄での研修が好評となっています。

●研修スケジュール例

1年次

オリエンテーション(2週)	内科(呼吸器・代謝・腎臓・血液・循環器・消化器・神経)(24週)	救急(8週)	外科(4週)	小児科(4週)	産婦人科(4週)	精神科(4週)	選択科(2週)
---------------	----------------------------------	--------	--------	---------	----------	---------	---------

- ・内科24週、救急8週、外科4週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週、他に選択科の研修を行うことができる。
- ・7月から3回の救急当番研修を行う。

2年次

選択科(2週)	地域医療(4週)	選択科(44週)
---------	----------	----------

- ・地域医療4週、月3回程度の救急当番研修を行う。(地域医療重点プログラムにおいては地域医療12週)
- ・1年次に到達目標未達成がある場合は、到達のための診療科研修を行う。

●協力型病院

山形県立こころの医療センター、日本海酒田リハビリテーション病院

●協力施設

日本海八幡クリニック、那覇市立病院、山形県赤十字血液センター、庄内保健所、本間病院、さかい往診クリニック、おおたきこどもクリニック、岡田内科循環器科クリニック、酒井醫院、ほんまクリニック、山容病院(申請中)、広域紋別病院(申請中)

●研修医数(令和7年度) 1年目:13名 2年目:11名

●研修修了後の進路(R6年度修了者)

当院プログラム(内2、外2)、山形大学プログラム3、東北大プログラム2、県立こころの医療センタープログラム1、亀田総合病院プログラム1、国立国際医療研究センター病院プログラム1

処 遇

給 与	(基本月額+研修医手当等) ※改正の可能性有 1年次:489,700円 2年次:503,800円
手 当	期末、勤勉、通勤、時間外勤務、退職手当等
宿 日 直	平日 17:15~23:00 休日 8:30~17:15/17:15~23:00
宿 舎	自己負担11,000円/月 駐車場代込み



募集要項

募 集 定 員	13名(令和7年度)
募 集 方 法	公募 マッチング利用:有
病 院 見 学	随時可能 ※希望日の2週間前までにHP見学申込フォームよりお申込ください。 交通費・宿泊費の負担有(総額上限5万円)、宿泊斡旋有
連 絡 先	日本海総合病院総務課職員係 TEL:0234-26-2001 E-mail:kensyu@nihonkai-hos.jp



鶴岡市立荘内病院

〒997-8515 鶴岡市泉町4番20号 <https://www.shonai-hos.jp/>

病院の概要

令和7年4月1日現在

病 院 長	鈴木 聡
病 床 数	521床
院内で研修可能な診療科目	内科、神経内科、消化器科、循環器科、漢方内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、小児外科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、麻酔科、放射線科、病理診断科、救急集中治療科
その他の診療科目	精神科、呼吸器科、緩和ケア内科、形成外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、リハビリテーション科
医 師 数	85名
指 導 医 数	45名
年間入院患者数	9,148名（令和6年度）
年間新外来患者数	12,348名（令和6年度）
救急患者受入人数	13,074名（令和6年度）



病院の特徴

当院は、日本海に面した庄内地方の南域、1市2町約14万人の医療圏唯一の基幹病院です。平成15年に免震構造と屋上へリポートを備える災害拠点病院として移転・新築し、綺麗で明るい雰囲気の特長です。病床数521床（一般476、周産期母子医療センター12床（NICU6、GCU6）、集中治療センター23床（ICU6、HCU9、救急8）、人間ドック10床）を有し、年間を通して様々な疾患の患者さんが来院する急性期病院として地域医療を支えています。

プログラム責任者

救急集中治療科 佐藤 紘一

当院は庄内二次医療圏南部に位置し、災害拠点病院、地域周産期母子医療センターの指定を受けた基幹病院です。現在まで東北地方のみならず、関西・九州・沖縄地方の大学など全国から研修医を受け入れ、その後全国に羽ばたいてもらっています。

研修医の皆さんには2年間で基幹病院の救急外来を守る主役になってもらえるよう、1年目ではBLSやACLSなどの教育コースを病院負担で受講してもらい、2年目からは1年目の指導はもちろん、主体的に重症患者を診療してもらいます。さらに2年目には京都府や沖縄県などの協力型臨床研修病院での短期研修も可能で、全国の研修医と一緒に働いて刺激を受けることができます。

将来何科に進み、どこで働いたとしても当院の救急外来で養ったマネジメント力や度胸は必ず生かされると思います。廊下ですれ違うコ・メディカルが皆気持ち良く挨拶を交わす、そんな病院で医師としての第一歩を踏み出しませんか。やる気次第で広がる可能性は無限大、可能性を広げに来てください。

研修医

当院の研修では、救急症例の経験を多く積める点が大きな特徴です。年間の救急車搬入台数は4,000台以上に対して常勤医師数が少ないため、必然的に研修医がファーストタッチして活躍できる場面が多いです。そのため研修期間中でメジャーな疾患・症例はほぼ全て経験することができます。興味がある方は救急診療で役立つBLS、ACLS、JATECなどの講習を受講することも可能です。受講の際は参加費・交通費を支給してもらえるのもうれしいポイント。

医師公舎（1Kは無料）には消雪付き駐車場（無料）、オートロック、宅配BOX、冷暖房、床暖房、IHコンロ、広々とした湯船などが付いており、とても快適に過ごすことができます。また東京へのアクセスも良好で、近くにある庄内空港から1時間程度で羽田空港へ行けます。そのため週末に東京へ刺激を求めて遊びに行くことも可能です。

見学の際は交通費と宿泊費の補助が出るので、興味がある方は、ぜひ一度見学に来てみてください。

研修の概要

- ・南庄内地域唯一の基幹病院で、急性期・重症症例を数多く経験できます。また、救急患者は年間約13,100人と多く、救急症例を幅広く研修することができます。救急の初期対応を習得するために整形外科を必修科としています。
- ・手術は年間約4,100件で、基本的な手術手技や挿管手技を含めた麻酔・救急蘇生技術を十分に習得できます。内科系はマンツーマン指導で、プライマリケアの修得には十分な症例数があります。
- ・各年定員7名の少人数制としています。約10ヶ月の選択期間に希望の診療科（県内外の協力病院を含む）を自由に研修できるプログラムで、選択科の延長や変更等にも可能な限りフレキシブルに対応します。

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科				救急	外科	小児	産婦	整形	麻酔	選択科	
2年次	地域	精神	内科		選択科							

●協力型病院

山形県立こころの医療センター（精神科）、公立置賜総合病院（呼吸器科、呼吸器外科、形成外科、心臓血管外科、耳鼻咽喉科ほか）、庄内余目病院（地域医療）、宇治徳洲会病院（救急総合診療科）、南部徳洲会病院（総合診療科、救急診療科）、山形県立河北病院（地域医療、内科（総合診療））

●協力施設

鶴岡協立病院（地域医療）、湯田川温泉リハビリテーション病院（地域医療）、上野ファミリークリニック（地域医療）

●研修医受入人数（令和7年度） 1年目：3名、2年目：6名

●研修修了後の進路（令和元年度以降の研修医のみ）

鶴岡市立荘内病院、山形大学、日本海総合病院、山形県立こころの医療センター、山形県立中央病院、東北医科薬科大学、岩手県立中央病院、富山県立中央病院、社会医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院、日本医科大学、東京女子医科大学、千葉大学、北里大学、上尾中央総合病院 など



科と職種を越えた協力体制で行うICU回診

処 遇

給 与	基本給：1年次370,000円、2年次375,100円 年間概算支給見込額：1年次740万円、2年次990万円 ※年間概算支給見込額は、基本給に各手当を含んだ税込額です。
手 当	地域手当、診療手当、研究手当、時間外勤務手当、宿日直手当、救急勤務医手当、住居手当、通勤手当、賞与など
宿 日 直	月4～5回
宿 舎	医師公舎あり（1Kは家賃無料）



きれいで快適な医師公舎
（病院まで徒歩5分程度）

募集要項

募 集 定 員	7名
応 募 方 法	募集期間内に下記担当まで必要書類を提出してください。
選 考 方 法	面接試験 ※応募後、日程調整いたします。
募 集 期 間	令和7年6月～8月頃（予定）
必 要 書 類	申込書、履歴書、卒業（見込）証明書 ※様式は研修医リクルートサイトから
病 院 見 学	随時可能 ※申し込みは研修医リクルートサイト内の見学申込フォームから
連 絡 先	総務課 経営企画係 臨床研修担当まで TEL：0235-26-5111 E-mail：rinken@shonai-hos.jp

研修医
リクルート
サイト



研修医
Instagram



新専門医制度における県内の 研修基幹施設と各研修プログラム

平成30年度から新たな専門医の仕組みによる専門研修がスタートしました。

専門医は、基本領域学会専門医と、より専門性の高いサブスペシャリティ学会専門医の2段階制ですが、山形県内では、現在、19基本領域（内科、皮膚科、外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、麻酔科、小児科、精神科、整形外科、眼科、泌尿器科、放射線科、救急科、リハビリテーション科、形成外科、病理、臨床検査、総合診療科）のうち、臨床検査を除く18領域の専門研修プログラムがあります。

以下に、山形県内の研修基幹施設と各研修プログラムをまとめてご紹介します。

国立大学法人 山形大学医学部附属病院

〒990-9585 山形市飯田西2-2-2
<https://www1.id.yamagata-u.ac.jp/MIDINFO/>

- 病院長：土谷 順彦
- 病床数：637【一般：601／精神：36】
- 医師数：408
- 診療科目：内、精、循、小、外、整、脳、心、皮、泌、産、婦、眼、耳、放、歯口、麻、形、リ、病、救

●病院の概要

独自の専門医養成プログラム

大学病院は、教育病院であると共に最先端医療技術の発信基地でもあります。卒後臨床研修修了後の専門医取得に必要な高度先進医療の研修は、大学病院が最も得意とするところ。山形大学では各診療科が専門医に要求される研修内容に対応して緻密に組まれた独自の専門医養成プログラムを有しています。もちろん、専門分野の教育においても大学病院での教育とともに、市中病院での経験が重要なもの言うまでもありません。

また、県内外の主要な教育病院及び山形県と合同で組織する「蔵王協議会」という組織があり、この組織により大学附属病院と関連病院が有機的に結びついた研修が可能で、市中病院に勤務しながら大学院生として専門医取得のための研修や博士号取得のための研究が行える数少ない大学です。



●専門研修プログラム

- 山形大学医学部附属病院内科専門医研修プログラム
- 山形大学医学部附属病院小児科研修医(専攻医)研修プログラム
- 山形大学医学部皮膚科研修プログラム
- 精神科領域専門医研修プログラム
- 山形大学外科専門医研修プログラム
- 山形大学整形外科専門医研修プログラム
- 山形大学産婦人科専門医研修施設群専門医研修プログラム
- 山形大学医学部附属病院眼科専門医研修プログラム
- 山形大学医学部附属病院耳鼻咽喉科専門医研修プログラム
- 山形大学医学部泌尿器科専門医研修プログラム
- 脳神経外科専門医 山形大学医学部プログラム
- 山形大学医学部附属病院放射線科専門医研修プログラム
- 山形大学医学部附属病院麻酔科専門医研修プログラム
- 山形県・山形大学医学部病理専門医研修プログラム
- やまがた未来志向型救急医養成専門医研修プログラム
- 山形大学医学部附属病院形成外科専門医研修プログラム
- 山形県リハビリテーション科専門医研修プログラム
- 山形大学医学部附属病院総合診療専門医研修プログラム

山形県立中央病院

〒990-2292 山形市大字青柳1800番地
<https://www.ypch.gr.jp/index.html>

- ◎病院長：鈴木 克典
- ◎病床数：609【一般：607／感染症：2】
- ◎医師数：194
- ◎診療科目：内、呼内、血内、糖内、腎内、心内、精、脳内、消内、
 循内、感内、腫内、小、新内、外、整、リハ、形、
 脳外、呼外、心外、消外、乳外、小外、皮、泌、
 産婦、眼、頭耳、放、歯口、麻、病理、救、緩和

●病院の概要

当院は、がん・生活習慣病センターと救命救急センターとを付置した総合医療センターで、一般病棟512床の他、CCU・SCU：6床、ICU：8床等の集中治療部門、総合周産期母子医療センターや緩和ケア病棟等の特色ある施設を合わせもち、全609床となっています。

診療科は35科を有し、各科の診療内容は一次医療から高度な知識・技術・経験を必要とする三次医療まで広い範囲を担っています。エイズ治療拠点病院、基幹災害医療センター、第1種感染症指定病院等多くの機能を担当する他、都道府県がん診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センター等の各種の指定を受けております。また、平成24年11月から運用を開始した山形県ドクターヘリの基地病院に指定されているとともに、平成28年度から、本院の強みを活かした3つの診療センターを導入しており、より高度な医療を要する症例を、数多く経験することが可能となっています。



●専門研修プログラム

- 山形県立中央病院内科専門研修プログラム
- 山形県立中央病院外科専門研修プログラム
- 山形県立中央病院麻酔科専門研修プログラム
- 山形県立中央病院救急科専門研修プログラム

山形市立病院済生館

〒990-8533 山形市七日町一丁目3番26号
<http://www.saiseikan.jp/>

- ◎病院長：貞弘 光章
- ◎病床数：528【一般：528】
- ◎医師数：97
- ◎診療科目：消、呼、循、内、糖・内分泌、腎、血、精、神内、
 小、皮、放、外、内外、消外、血外、乳外、整、
 脳外、脳放、リハ、泌、産婦、眼、耳、形成、麻、
 病理、救、歯、歯口

●病院の概要

当院の基本理念は、「生命の尊厳と人間愛を基本として、皆さんの健康を守るため、保健・福祉と連携し、地域基幹病院としての使命を果たします」と謳っております。この基本理念を基に「1. 患者さんの権利を尊重し、相互の信頼関係を大切にします」「2. 病院機能の充実と職員の資質を高め、医療水準の向上に努めます」「3. 市立病院として健全経営を図り、良質な医療を提供します」「4. 地域医療との連携を深め、役割分担を図りながら患者さんが安心して医療を受けられるよう努めます」の4点を病院の基本方針としています。

また、当院の性格として市民のあらゆるニーズに応えることが義務付けられています。日常の診療では紹介患者さんを中心とした診療を、救急診療では1・2次救急患者の受入れを積極的に行っていますので、各科担当指導医のもと専門性の高いより実践に即した研修を行うことができます。



●専門研修プログラム

- 山形市立病院済生館内科専門研修プログラム

社会福祉法人恩賜財団済生会 山形済生病院

〒990-8545 山形市沖町79-1
http://www.ameria.org/

- 病院長：石井 政次
- 病床数：459【一般：459】
- 医師数：67
- 診療科目：内・神内・呼内・消内・循内・糖内・腎内・血内・リウ・小・外・乳外・整外・形外・脳外・呼外・心外・皮・泌・産婦・眼・耳・リハ・放・麻・精

●病院の概要

山形県唯一の公的医療機関として、済生会設立の本旨である無料低額診療などの福祉医療をはじめ、村山2次医療圏の中核的病院として高度・急性期医療を中心に地域医療を担う他、バングラデシュの病院への医療支援を通じて国際協力にも力を注いでいる。1999年には県内で2番目の病院として日本医療機能評価機構の施設認定を受け、2019年には、3rdG: Ver.2.0の認定を受けた。「患者さん中心の医療の実践」を基本方針として掲げ、「トータルケアの考えに基づいた疾病予防、治療、在宅医療まで継続した医療の提供」、「チーム医療の充実を図り診療機能と患者サービスの向上を目指す」、「地域における医療の質向上のため、他の医療機関と協力し臨床教育の実践を図る」ことを中長期の目標として職員一同研鑽に励んでいる。予防医学では人間ドック、脳ドックはもとより、生活習慣病患者が利用する健康増進センターを付設、がんの早期発見に寄与するPET/CT装置を備えたPET/CTセンターを開設、健診のみならず病病、病診連携に大きな貢献を果たしており、県民医療のレベルアップにつながっているものと考えている。



●専門研修プログラム

- 済生会山形済生病院整形外科専門研修プログラム

社会医療法人松柏会 至誠堂総合病院

〒990-0045 山形市桜町7番44号
http://www.shiseido-hp.jp/

- 病院長：小林 真司
- 病床数：199
【一般：40/回復期リハ：55/障害者：21/地域包括ケア：83】
- 医師数：15
- 診療科目：内、呼内、消内、循内、糖内、脳神内、外、整、婦、リハ、放、リウ、緩和ケ

●病院の概要

当院は、山形市の中心部に位置し明治36年創立の非常に歴史ある病院です。法人内には、3つの診療所、介護老人保健施設(29床)、訪問サービス(看護・リハビリ)の他、サービス付高齢者向け住宅(20戸)等の事業所を併せ持ち、医療から介護、急性期医療から在宅療養支援まで地域に密着した事業を展開しています。その施設群を活用しての地域医療の担い手としての医師養成に努めています。

当院の特徴としては、呼吸器・糖尿病等の慢性疾患の治療と療養指導に特に力を入れ、患者会を組織しています。また近年は、リハビリテーション機能を強化し、在宅への復帰を支援するための人材養成、施設整備を図ってきました。地域の第一線において、基礎的な臨床診断力とともに、保健や介護・福祉とも連携した総合的な医療ニーズに対応できる医師を目指す研修を提供致します。また、当院では、室料差額を徴収せず、無差別・平等の医療を提供しています。医局は各科の垣根が低く、他科の医師に診療に関わることから悩みごとまで、気軽に相談しやすい雰囲気があります。各職種とのコミュニケーションも取りやすく、アットホームな環境です。



●専門研修プログラム

- さくらんぼ総合診療専門研修プログラム

山形県立河北病院

〒999-3511 西村山郡河北町谷地字月山堂111
<https://kahoku-hospital.jp/>

- 病院長：佐藤 敏彦
- 病床数：136【一般：130／感染症：6】
- 医師数：24
- 診療科目：内、総診、消内、脳神内、小、外、乳外、整、
脳外、皮、泌、産婦、眼、耳、放、麻、疼緩

●病院の概要

昭和22年に日本医療団谷地病院として発足、その後昭和39年4月に山形県立河北病院に改称し、西村山地域の中核病院として「地域から信頼される病院として質の高い安全な医療の提供」を基本理念に掲げて、日々まい進しています。

総合診療においては、初診から各専門の診療科や関係機関へ速やかにつながるなどの横の連携を取りながら、患者さんにとって最もためになる医療を提供しています。

その他、救急医療、急性期医療、地域包括ケア、在宅医療など多様な医療機能を有する特長を生かしながら、地域に根差した総合的な医療を提供しています。



●専門研修プログラム

- 山形県立河北病院総合診療専門研修プログラム
- 山形県立河北病院新・家庭医療専門研修プログラム

山形県立新庄病院

〒996-8585 新庄市金沢720番地の1
<http://www.ysh.pref.yamagata.jp/>

- 病院長：八戸 茂美
- 病床数：325【一般：321／感染症：4】
- 医師数：49
- 診療科目：内、総診、消内、脳神内、循内、呼内、血内、
腫内、腎内、糖内、緩内、小、外、乳外、整、
形成、脳、皮、泌、産婦、眼、耳、放、麻、救、
精、歯、リハ

●病院の概要

- ・山形県最上2次保健医療圏唯一の中核病院です。
- ・救急告示病院として、地域のほとんどの救急患者が搬送されます。
- ・へき地医療拠点病院として、地域の町立病院、町・村立診療所と連携して地域医療を支えています。
- ・山形大学や東北大学など東北地域の大学医学部との交流を活発に行っています。
- ・令和5年10月に新築移転し、最上地域で初の地域救命救急センターを設置し、更にドクターヘリの発着場も敷地内に整備して、迅速な救急医療の提供を可能としています。



●専門研修プログラム

- 山形県立新庄病院総合診療専門医研修プログラム

公立置賜総合病院

〒992-0601 東置賜郡川西町大字西大塚2000番地
<http://www.okitama-hp.or.jp/>

- 病院長：江口 英行
- 病床数：470
 【一般：400／救急：20／感染症：4／精神：46】
- 医師数：102
- 診療科目：内、精、神内、消内、循内、小、外、消外、乳外、呼外、整、脳外、心外、皮、泌、産婦、眼、耳、リハ、放、歯口、麻、形、救

●病院の概要

当院は、山形県の南3分の1を占める置賜地域の高度医療を担う拠点として、隣接する二市二町（長井市・南陽市・川西町・飯豊町）と山形県を構成団体とする中核病院です。長井市・南陽市・川西町に位置するサテライト医療施設が初期医療や回復期医療を担い、救命救急センター、へき地拠点病院、地域がん診療連携拠点病院等の指定を受ける当院が高度医療を担っております。

総合診療科においては、幅広い疾患に対する初診を中心とした外来診療、専門各科にまたがる問題を持つ患者に対する病棟診療、救急科と連携した初期救急とそれに続く入院管理などを提供しています。内科においては、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、代謝内分泌科、腎臓内科を持ち、地域への専門医療を提供しています。小児科においては、乳幼児健診、予防接種、幅広い外来診療、病棟診療を提供しています。救急科においては、重度外傷への救急医療からER救急まで幅広い救急医療を提供しています。



●専門研修プログラム

- 公立置賜総合病院総合診療専門研修プログラム

日本海総合病院

〒998-8501 酒田市あきほ町30番地
<http://www.nihonkai-hos.jp/hospital/>

- 病院長：橋爪 英二
- 病床数：590【一般：586／感染症：4】
- 医師数：166
- 診療科目：内、循内、消内、内視鏡内、精、神内、小、緩和ケア内、外、乳外、小外、整、形、リハ、脳外、心外、呼外、皮、泌、産婦、眼、耳、放、麻、救、歯口、病理

●病院の概要

平成20年4月、山形県立日本海病院と酒田市立酒田病院を統合再編し、急性期医療を担う「日本海総合病院」としてスタートした。平成23年4月屋上ヘリポートを備えた救命救急センターの運用を開始、平成24年6月庄内地域初のPET／CTを導入した。また、平成25年8月にハイブリッド手術室の稼動を開始し、平成27年2月にはDMATカーを配備した。さらに、令和元年5月には庄内地域で初めて手術支援ロボット「ダヴィンチ」の運用を開始しており、地域医療の向上を図っている。



●専門研修プログラム

- 日本海総合病院内科専門研修プログラム
- 日本海総合病院産婦人科専門研修プログラム
- 日本海総合病院外科専門研修プログラム
- 日本海総合病院麻酔科専門研修プログラム

鶴岡協立病院

〒997-0816 鶴岡市文園町9-34
<http://y-mcoop.com/hospital/>

- ◎病院長：市川 誠一
- ◎病床数：199
- ◎医師数：9
- ◎診療科目：内、小、外、整、心外、泌、産婦、リハ、透析、病理

●病院の概要

鶴岡協立病院はベッド数199床、1日約200名の患者様が来院する一般病院として、急性期及び慢性維持期の疾病の治療を担っています。また、介護や保健予防活動、医療制度や社会保障の改善にも力を入れている病院です。

医療分野のみにとどまらず、医療生活協同組合のネットワークを活用して、介護分野でのデイケアや訪問看護、保健予防では健診・人間ドック、さらにはメディカルフィットネスでの健康づくりなど総合的なサービスを提供し、皆様の命と健康を守っていきたいと考えております。

また、安心して医療にかかりたいという住民要求の実現と、地域住民の皆様や開業医の皆様、そしてより多くの医療従事者の力をお借りしながら「いつまでも住み続けられる町」の実現を目指しています。



●専門研修プログラム

- 鶴岡協立病院総合診療専門研修プログラム

山形県立こころの医療センター

〒997-8510 鶴岡市北茅原町13-1
<https://cocorohosp-yamagata.jp/>

- ◎病院長：神田 秀人
- ◎病床数：213
- ◎医師数：17
- ◎診療科目：精神科、心療内科、児童・思春期精神科

●病院の概要

当院は県内で唯一の公立精神科単科の病院であり、庄内・最上地域の精神科医療の基幹病院としての役割を担っています。

365日24時間体制で救急事例を受け入れるスーパー救急病棟、院内学級を併設し医療と教育の融合を目指した児童思春期病棟、重大犯罪を犯した精神障がい者を多職種チームで治療する医療観察法病棟、個室中心でアメニティーの高いストレス病棟といった専門性の高い入院病棟と共に、デイケアや訪問看護チームが活発に活動しています。

医局は新しいドクターが続々と増え、医師数もH29：10名→R7：17名となりました。若いドクターが多く、自由でとても良い雰囲気です。

我々と“こころひとつに”未来の精神医療を切り拓く、気概のある若いチカラを募集しています！



●専門研修プログラム

- 山形県立こころの医療センター専門研修プログラム

山形県専門研修基本19領域 基幹施設一覧（令和7年度）

地域		村山						置賜	置賜	庄内		
基幹施設	プログラム数	山形大学医学部附属病院	山形県立中央病院	山形市立病院済生館	済生会山形済生病院	至誠堂総合病院	山形県立河北病院	山形県立新庄病院	公立置賜総合病院	日本海総合病院	鶴岡協立病院	山形県立こころの医療センター
		P.29	P.47	P.51	P.52	P.53	P.54	P.55	P.56	P.57	P.61	P.62
基本診療領域												
プログラム数	34	18	4	1	1	1	1	1	1	4	1	1
内科	4	○ P.29	○ P.47	○ P.51						○ P.57		
小児科	1	○ P.30										
皮膚科	1	○ P.31										
精神科	2	○ P.32										○ P.62
外科	3	○ P.33	○ P.48							○ P.58		
整形外科	2	○ P.34			○ P.52							
産婦人科	2	○ P.35								○ P.59		
眼科	1	○ P.36										
耳鼻咽喉科	1	○ P.37										
泌尿器科	1	○ P.38										
脳神経外科	1	○ P.39										
放射線科	1	○ P.40										
麻酔科	3	○ P.41	○ P.49							○ P.60		
病理	1	○ P.42										
臨床検査	0											
救急科	2	○ P.43	○ P.50									
形成外科	1	○ P.44										
リハビリテーション科	1	○ P.45										
総合診療	6	○ P.46				○ P.53	○ P.54	○ P.55	○ P.56		○ P.61	

山形大学医学部附属病院内科専門医研修プログラム

●プログラムの特色

山形大学医学部附属病院を基幹施設として、山形県医療圏・近隣医療圏にある連携施設とで地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練されます。内科専門医としての基本的臨床能力獲得後はさらに高度な総合内科のGeneralityを獲得する場合や内科領域Subspecialty専門医への道を歩む場合を想定して、複数のコース別に研修をおこなって内科専門医の育成を行います。卒後6年目に内科専門医取得となります。疾患の幅の広さ、指導医の層の厚さ、融通の利くスケジュールが特徴です。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	鶴岡市立荘内病院	特別連携	篠田総合病院
連携	山形県立中央病院	連携	済生会山形済生病院	特別連携	小国町立病院
連携	日本海総合病院	連携	三友堂病院	特別連携	最上町立病院
連携	公立置賜総合病院	連携	至誠堂総合病院	特別連携	朝日町立病院
連携	山形県立新庄病院	連携	東北中央病院	特別連携	余目病院
連携	山形県立河北病院	連携	国立山形病院	特別連携	みゆき会病院
連携	山形市立病院済生館	連携	新庄徳洲会病院	特別連携	鶴岡協立病院
連携	米沢市立病院	連携	石巻赤十字病院	特別連携	公立高畠病院
連携	北村山公立病院	連携	寒河江市立病院	特別連携	国立米沢病院 他

専門
研修
プログラム

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	初期研修											
2年目	初期研修											
3年目	基幹病院（第1内科）						基幹病院（第2内科）			基幹病院（第3内科）		
4年目	基幹病院（第1内科）						連携施設					
5年目	連携施設											

●取得可能なサブスペシャリティ

消化器専門医、循環器専門医、呼吸器専門医、血液専門医、内分泌代謝科専門医、糖尿病専門医、腎臓専門医、肝臓専門医、神経内科専門医、リウマチ専門医、消化器内視鏡専門医、がん薬物療法専門医、感染症専門医、アレルギー専門医(各学会・日本専門医機構認定)ほか

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：
 - ・健康診断年1回実施
 - ・入居可能住宅有り
 - ・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用
 - ・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：24名
- 応募期間：令和7年度9月以降を予定
- 選考方法：面接による

●問合せ先

- 担当者：各科内科専攻医担当（1内 井上 2内 八木 3内 柄澤 腫瘍内科 福井）
- TEL：023-628-5017/FAX：023-628-5019
- E-mail：yu-sotsugo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp/HP：http://www.id.yamagata-u.ac.jp/kenshu/index.html

山形大学医学部附属病院小児科研修医(専攻医)研修プログラム

●プログラムの特色

山形県内全域に多彩な研修病院を擁しており、1次医療から難治疾患の高度医療まで総合的に研修可能。基本的診療技能、救急対応、新生児医療、各臓器疾患対応は勿論、小児保健、ワクチンを中心とした予防医療、健康診査法まで、育児・健康支援者、総合医療者となるべく、研修を進めることができる。

またこの研修期間中に積極的に対外発表を行うことで、臨床研究、疫学研究、臨床につながる基礎研究を考えていく契機とすることを意図している。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形市立病院済生館	連携	山形県立中央病院
連携	日本海総合病院	連携	米沢市立病院	連携	公立置賜総合病院
連携	山形県立新庄病院	連携	済生会山形済生病院	連携	鶴岡市立荘内病院
連携	山形県立 こども医療療育センター				

●専門研修ローテーションモデル ※一例であり、2、3年目の順番は状況により変動します。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	連携病院（一般小児科）											
2年目	基幹病院（腎・内分泌）				基幹病院（血液）				基幹病院（神経）			
3年目	基幹病院（循環器）				基幹病院 （希望分野）		連携病院（新生児）					

●取得可能なサブスペシャリティ

血液専門医(日本血液学会・日本専門医機構認定)、内分泌代謝科専門医(日本内分泌学会・日本専門医機構認定)、腎臓専門医(日本腎臓学会・日本専門医機構認定)のほか、周産期新生児専門医(日本周産期・新生児医学会認定)、小児循環器専門医(日本小児循環器学会認定)、小児神経専門医(日本小児神経学会認定)、小児血液・がん専門医(日本小児血液・がん学会認定)

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施
・入居可能住宅有り
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用
・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：7人
- 応募期間：例年10月に1次募集を開始、締め切りは11月
- 選考方法：書類選考・面接

●問合せ先

- 担当者：荻野大助
- TEL：023-628-5329／FAX：023-628-5332
- E-mail：shoni@mws1.id.yamagata-u.ac.jp／HP：http://minfo2.id.yamagata-u.ac.jp/Ped/jinzai.html

山形大学医学部皮膚科研修プログラム

●プログラムの特色

皮膚科専門医として信頼され安全で標準的な医療を国民に提供できる十分な知識と技術を獲得できることを目標とする。当院は山形県の皮膚がん診療の中心となっている他、難治性皮膚疾患、稀な疾患などの診療も行っており、より専門性の高い疾患の診断・治療の研修を行うことができる。さらに医師としての診療能力に加え、教育・研究などの総合力を培うことができる。連携病院では、急性期疾患、頻繁に関わる疾病に適切に対応できる総合的な診療能力を培い、地域医療の実践、病診連携を習得し、特に山形市立病院済生館では、皮膚アレルギー疾患に対する検査、治療方法を習得することができる。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院	連携	山形県立新庄病院
連携	山形市立病院済生館				

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	基幹病院（山形大学医学部附属病院）での研修											
2年目	基幹病院（山形大学医学部附属病院）での研修											
3年目	連携病院（県立中央病院、県立新庄病院、山形市立病院済生館）での研修											
4年目	基幹病院（山形大学医学部附属病院）での研修											
5年目	基幹病院（山形大学医学部附属病院）での研修											

●取得可能なサブスペシャリティ

アレルギー専門医（日本アレルギー学会・日本専門医機構認定）のほか、皮膚悪性腫瘍指導専門医（日本皮膚科学会認定）

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：
 - ・健康診断年1回実施
 - ・入居可能住宅有り
 - ・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用
 - ・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：4人
- 応募期間：2025年度9月1日～（予定）
- 選考方法：書類審査及び面接

●問合せ先

- 担当者：紺野隆之
- TEL：023-628-5361 / FAX：023-628-5364
- E-mail：t-konno@med.id.yamagata-u.ac.jp / HP：http://minfo2.id.yamagata-u.ac.jp/hifuka/#

精神科領域専門医研修プログラム

●プログラムの特色

本プログラムでは児童思春期から高齢者までの様々な疾患に対して、高い診断能力を身につけ、精神療法を柱とする心理社会的療法と薬物療法などの生物学的治療をバランスよく行うことができる医師を養成することを目的としている。総合病院では身体合併症を有する症例、リエゾン・コンサルテーション精神医学、修正型電気けいれん療法、認知症の脳画像診断法などを、精神科病院では、精神科救急、司法精神医学、リワークプログラムによるうつ病の復職支援、SSTなどの精神科リハビリテーションを経験することができる。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立 こころの医療センター	連携	日本海総合病院
連携	二本松会 山形さくら町病院	連携	二本松会 かみのやま病院	連携	公立置賜総合病院
連携	敬愛会尾花沢病院	連携	産業医科大学病院	連携	公徳会 若宮病院
連携	篠田好生会 篠田病院	連携	斗南会 秋野病院	連携	愛陽会 三川病院

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	基幹病院である山形大学医学部附属病院で、精神科医としての基本的な知識、技術を身に付ける。											
2年目	総合病院でリエゾン・コンサルテーション精神医学、修正型電気けいれん療法等を経験する。											
3年目	精神科病院で精神科救急、精神科リハビリテーション等を経験する。											
4年目	可能な限り専攻医の希望に応じて研修病院を決める。											
5年目	可能な限り専攻医の希望に応じて研修病院を決める。											

●取得可能なサブスペシャリティ

日本臨床精神神経薬理学専門医(日本臨床精神神経薬理学会認定)、日本認知症学会専門医(日本認知症学会認定)、
日本老年精神医学会専門医(日本老年精神医学会認定)、子どものこころ専門医(子どものこころ専門医機構認定)、
一般病院連携精神医学専門医(日本総合病院精神医学会認定)

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員(年俸制)又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施
・入居可能住宅有り
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用
・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：10名
- 応募期間：2025年度9月1日～(予定)
- 選考方法：履歴書記載内容と面接に基づき審査

●問合せ先

- 担当者：簡野宗明
- TEL：023-628-5322/FAX：023-628-5325
- E-mail：makanno@med.id.yamagata-u.ac.jp/HP：http://www.id.yamagata-u.ac.jp/NP/neo/

山形大学外科専門研修プログラム

●プログラムの特色

1. 基本的診療能力、専門的診療能力、高い倫理性を備え、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医の育成
2. 初期臨床研修から連動したフレキシブルなプログラム編成が可能
3. 大学院コースの設定が可能



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	北村山公立病院	連携	公立置賜総合病院
連携	仙台市立病院	連携	篠田総合病院	連携	白鷹町立病院
連携	天童市民病院	連携	立川総合病院	連携	鶴岡市立荘内病院
連携	日本海総合病院	連携	東北中央病院	連携	新潟大学医歯学総合病院
連携	山形県立中央病院	連携	山形県立河北病院	連携	山形県立新庄病院
連携	米沢市立病院	連携	山形済生病院	連携	山形市立病院済生館
連携	東都春日部病院	連携	仙台厚生病院		

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形大学医学部附属病院											
2年目	連携施設A											
3年目	連携施設B			連携施設C			山形大学医学部附属病院					

●取得可能なサブスペシャリティ

消化器外科専門医(日本消化器外科学会・日本専門医機構認定)、呼吸器外科専門医(日本呼吸器外科学会・日本専門医機構認定)、
 心臓血管外科専門医(日本血管外科学会・日本専門医機構認定)、小児外科専門医(日本小児外科学会・日本専門医機構認定)、
 乳腺専門医(日本乳癌学会・日本専門医機構認定)、内分泌外科専門医(日本内分泌外科学会・日本専門医機構認定)、
 消化器病専門医(日本消化器病学会・日本専門医機構認定)、食道外科専門医(日本食道学会認定)、肝胆脾外科高度技能専門医(日本肝胆脾外科学会認定)、
 内視鏡外科技術認定(日本内視鏡外科学会認定)、ロボット支援手術プロクター認定(日本内視鏡外科学会認定)、臨床栄養認定医(日本臨床代謝栄養学会認定)ほか

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：
 - ・健康診断年1回実施
 - ・入居可能住宅有り
 - ・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用
 - ・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：11名
- 応募方法：プログラム統括責任者（山形大学医学部附属病院第一外科 元井 冬彦）宛に『山形大学外科専門研修プログラム応募申請書』（山形大学医学部附属病院卒業臨床研修センターHP）および履歴書を提出してください
- 応募期間：5月1日～10月31日
- 選考方法：書類選考および面接

●問合せ先

- 担当者：元井冬彦（山形大学医学部附属病院 第一外科）
- TEL：023-628-5336/FAX：023-628-5339 ●E-mail：fмотoi@med.id.yamagata-u.ac.jp
- 山形大学医学部附属病院 卒業臨床研修センター（<http://www.id.yamagata-u.ac.jp/kenshu/>）

山形大学整形外科専門研修プログラム

●プログラムの特色

あらゆる運動器に関する科学的知識と高い社会的倫理観を備え、さらに、進歩する医学の新しい知識と技能を修得できるような幅広い基本的な臨床能力(知識・技能・態度)が身についた整形外科専門医となることができる。

関節外科、手外科、脊椎外科、スポーツ医学、骨軟部腫瘍、救急医療、リハビリテーションなどそれぞれに特色をもった山形県、宮城県、福島県に17の施設、病院があり、教育経験豊かな指導医のもと、機能的なローテーションを通して、プライマリケアから最先端の臨床・研究までを学ぶことができる。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	済生会山形済生病院	連携	日本海総合病院
連携	公立置賜総合病院	連携	山形県立中央病院	連携	泉整形外科病院
連携	吉岡病院	連携	三友堂病院	連携	山形県立 こども医療療育センター
連携	山形県立河北病院	連携	山形県立新庄病院	連携	みゆき会病院
連携	寒河江市立病院	連携	栢記念病院	連携	町立真室川病院
連携	至誠堂総合病院	連携	公立高畠病院	連携	北村山公立病院
連携	日本海酒田 リハビリテーション病院	連携	米沢市立病院	連携	鶴岡市立荘内病院

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形大学医学部附属病院											
2年目	山形県立中央病院、日本海総合病院、公立置賜総合病院、済生会山形済生病院											
3年目	上記を含む他の連携研修施設病院											
4年目												

●取得可能なサブスペシャリティ

リウマチ専門医(日本リウマチ学会・日本専門医機構認定)のほか、脊椎脊髄外科専門医(日本脊椎脊髄病学会認定)、手外科専門医(日本手外科学会認定)、がん治療認定医(日本がん治療認定医機構認定)、骨・軟部腫瘍医(日本整形外科学会認定)、日整会認定リウマチ医(日本整形外科学会認定)、日整会認定スポーツ医(日本整形外科学会認定)、日整会認定脊椎脊髄病医(日本整形外科学会認定)、日整会脊椎内視鏡下手術・技術認定医(日本整形外科学会認定)、日整会認定運動器リハビリテーション医(日本整形外科学会認定)

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員(年俸制)又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施
・入居可能住宅有り
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用
・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：8名
- 応募期間：2025年度9月1日～(予定)
- 選考方法：書類選考及び面接

●問合せ先

- 担当者：菅原正登
- TEL：023-628-5355/FAX：023-628-5357
- E-mail：seikei@mws.id.yamagata-u.ac.jp/HP：http://www.yu-orthop.jp/

山形大学産婦人科専門研修施設群専門研修プログラム

●プログラムの特色

産婦人科専門医の資格は医学部卒業後5年、産婦人科研修開始3年で取得できます。専攻医は産婦人科専門医取得を目標に研修を行っています。大学附属病院及び関連病院において連携を取りながら、婦人科腫瘍・周産期・生殖内分泌・女性医学の四つの分野を柱として経験を積みみます。分娩・手術共に十分な症例があり、各サブスペシャリティの研修（婦人科疾患の診断及び手術、胎児診断や合併症妊娠を含む周産期管理、高度な生殖補助医療を含めた不妊治療、思春期から老年期までの女性の健康管理まで）が、幅広くかつ満遍なくできるようにプログラムを組んでいます。

また、若手医師同士の知識の共有と向上のため、年一回産婦人科若手の会を、また内視鏡手術に関する研修会として、年に3～4回山形県産婦人科内視鏡の会を開催し、技術の研鑽を図っています。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院	連携	山形市立病院済生館
連携	社会福祉法人 恩賜財団済生会 山形済生病院	連携	置賜広域病院組合 公立置賜総合病院	連携	米沢市立病院
連携	日本赤十字社 仙台赤十字病院	連携	山形県立新庄病院	連携施設 (地域医療)	地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院

専門
研修
プロ
グラ
ム

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	大学附属病院：産科婦人科基本手技の習得						連携施設A：一般婦人科疾患診療、分娩管理					
2年目	連携施設A：一般婦人科疾患診療、分娩管理						連携施設B：一般婦人科疾患診療、分娩管理					
3年目	連携施設B：一般婦人科疾患診療、分娩管理						大学附属病院：浸潤癌、胎児診断、合併症妊娠周産期管理、生殖内分泌治療の習得					
4年目	産婦人科専門医認定試験を受験し、専門医を取得。希望により大学院入学。											

●取得可能なサブスペシャリティ

周産期専門医(母胎・胎児) (日本周産期・新生児医学会認定)、婦人科腫瘍専門医(日本婦人科腫瘍学会認定)、生殖医療専門医(日本生殖医学会認定)、女性ヘルスケア専門医(日本女性医学学会認定)、内視鏡技術認定医(日本内視鏡外科学会認定)、臨床遺伝専門医(日本人類遺伝学会ほか認定)、細胞診専門医(日本臨床細胞学会認定)、腹腔鏡・子宮鏡技術認定医(日本産科婦人科内視鏡学会認定)、超音波専門医(日本超音波医学会認定)

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施
・入居可能住宅有り
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用
・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：8名
- 応募期間：2025年度9月1日～（予定）
- 選考方法：採用試験および面接

●問合せ先

- 担当者：太田 剛
- TEL：023-628-5393（医局直通）／FAX：023-628-5396
- E-mail：oota-t@med.id.yamagata-u.ac.jp／HP：http://yamagata-obgy.com/（講座HP）

山形大学医学部附属病院眼科専門研修プログラム

●プログラムの特色

眼科疾患は小児から高齢者まで幅広い年齢層が対象で、内科的治療だけでなく外科的治療も必要とし、幅広い医療技能の習得が求められています。当プログラムでは、以下の眼科医の育成を目指します。

1. 一般眼科学に精通し、専門性の高い眼科治療にも対応できる眼科医。
2. 一般診療所、総合病院の眼科医としての技術を身につけ、地域で活躍できる眼科医。
3. 学会発表や論文作成を通じて科学的に思考できる眼科医。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院	連携	公立置賜総合病院
連携	公立学校共済組合 東北中央病院	連携	山形県立新庄病院		

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	基幹施設で眼科検査、診察の基礎、手術を上級医に学ぶ						基幹施設で主治医として、上級医と連携して診療にあたる					
2年目	一般研修施設で研修し、外来、手術を多く経験することで一般眼科医としての能力を向上させる											
3年目	一般研修施設で研修し、基幹施設の専門外来、研究へ参加する						基幹施設でサブスペシャリティを学び、大学院への入学も検討					
4年目	基幹施設でサブスペシャリティ診療能力の向上を図り、研究にも積極的に参加する											
5年目	専門医認定試験に向けて研修、受験			専門外来で責任をもって診療にあたり、その後のキャリア形成へ向けて進路を検討								

●取得可能なサブスペシャリティ

眼科専門医(基本領域・日本眼科学会認定)

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施
・入居可能住宅有り
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用
・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：年間4名程度
- 応募期間：随時
- 選考方法：面談

●問合せ先

- 担当者：金子 優
- TEL：023-628-5374／FAX：023-628-5376
- E-mail：y-kaneko@med.id.yamagata-u.ac.jp／HP：http://www.id.yamagata-u.ac.jp/Opt/index.html

山形大学医学部附属病院耳鼻咽喉科専門研修プログラム

●プログラムの特色

耳鼻咽喉科は「生きる」を支え、そして「命と機能」を守る診療科です。感覚器のエキスパートとして、コミュニケーション機能のエキスパートとして、そして摂食・嚥下のエキスパートとして人の生涯に寄り添います。取り扱う範囲や分野、疾患も多岐にわたり、外科的な治療も内科的な診療もできるのが大きな魅力であり、それに応じた幅広い高度な臨床能力が求められています。山形大学耳鼻咽喉科では、「オリジナルからスタンダードへ」「地域に根ざし世界のセンターへ」をモットーに臨床・研究・教育に励んでおります。当プログラムは、今後の医学の進歩に対応していくために必要な基礎的な知識・医療技術を習得するだけでなく、広く世界に視野を向けた専門医を育成することを目的としています。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院	連携	山形市立病院済生館
連携	山形県立新庄病院	連携	日本海総合病院	連携	公立置賜総合病院
連携	埼玉県立がんセンター	連携	国際医療福祉大学 東京ボイスセンター	連携	米沢市立病院
連携	東北中央病院				

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形大学医学部附属病院											
2年目	山形県立中央病院、山形市立病院済生館、山形県立新庄病院、日本海総合病院、公立置賜総合病院のいずれかで											
3年目	6～12か月単位の研修											
4年目	基本的には山形大学医学部附属病院において研修をおこなうが、研修目標の進捗状況を考慮し、3～6か月間の県外の関連研修施設での研修、3か月以内の海外、地域医療の研修の選択を可能とする											

●取得可能なサブスペシャリティ

アレルギー専門医(日本アレルギー学会・日本専門医機構認定)のほか、気管食道科専門医(日本気管食道科学会認定)、頭頸部がん専門医(日本頭頸部外科学会認定)、耳科手術指導医(日本耳科学会認定)、鼻科手術指導医(日本鼻科学会認定)

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：
 - ・健康診断年1回実施
 - ・入居可能住宅有り
 - ・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用
 - ・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：5名
- 応募期間：2025年度10月～12月
- 選考方法：書類審査および面接

●問合せ先

- 担当者：山形大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科 千田邦明(医師)、海藤由比(医局秘書)
- TEL：023-628-5380/FAX：023-628-5382
- E-mail：jibika@mws.id.yamagata-u.ac.jp/HP：http://www.yamagata-u.umin.jp/ent/

山形大学医学部泌尿器科専門研修プログラム

●プログラムの特色

- ・教育施設であり、最先端医療技術の発信基地である大学病院での高度な医療の研修を行うことができる
- ・「蔵王協議会」により関連病院と有機的に結びついた研修を行うことができる
- ・勤務しながら大学院生として専門医取得のための研修や博士号取得のための研究を行うことができる(大学院進学コース)
- ・個々の希望に合わせたより高い臨床実施能力の獲得のための研修を行うことができる(臨床修練コース)
- ・奨学金取得者の地域医療の義務年限を考慮した研修を行うことができる(地域医療コース)



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院	連携	山形県立新庄病院
連携	山形市立病院済生館	連携	日本海総合病院	連携	公立置賜総合病院
連携	鶴岡市立荘内病院	連携	山形済生病院	連携	米沢市立病院
連携	みやぎ県南中核病院	連携	山形県立河北病院	連携	公立高畠病院

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形大学医学部附属病院(基幹施設)での研修(基本的知識及び技能の習得)											
2年目	連携病院(診療拠点病院)での研修(基本的知識および技能の習得)											
3年目	連携病院での研修(病院の特色に合わせた専門的疾患に対する理解。地域医療の現状に関して理解を深める)											
4年目	山形大学医学部附属病院での研修(より高度な専門知識や技能の取得。学会発表、論文発表を通じた科学的探究心の涵養)											

●取得可能なサブスペシャリティ

性機能学会専門医、小児泌尿器科認定医、排尿機能学会認定医、腎移植専門医、腎臓専門医、内分泌外科専門医、生殖医療専門医、超音波専門医、透析専門医 等

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員(年俸制)又は助教
- 給与：与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施
・入居可能住宅有り
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用
・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：6名
- 応募期間：日本専門医機構ホームページをご参照ください
- 選考方法：面接

●問合せ先

- 担当者：土谷順彦
- TEL：023-628-5368/FAX：023-628-5370
- E-mail：ntsuchiya@med.id.yamagata-u.ac.jp/HP：http://www.id.yamagata-u.ac.jp/Urology/

脳神経外科専門研修 山形大学医学部プログラム

●プログラムの特色

山形県内の脳神経外科疾患は腫瘍・血管障害・小児は山形大学、急性期脳卒中、頭部外傷は主に連携施設に集約化され治療されています。

本プログラムは脳神経外科疾患をまんべんなく、かつ効率よく学ぶために、研修施設をローテートする循環型の研修プログラムを採用していることが大きな特徴です。専門医を取得するための十分な症例数を経験できるのはもちろんのことですが、最新の機器を駆使した最先端の医療を学ぶことができます。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形市立病院済生館	連携	日本海総合病院
連携	公立置賜総合病院	連携	北村山公立病院	連携	米沢市立病院
関連	山形済生病院	関連	山形県立新庄病院	関連	鶴岡市立荘内病院
関連	東北大学病院	関連	北里大学病院	関連	篠田総合病院

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形大学医学部附属病院											
2年目	鶴岡市立荘内病院						山形市立病院済生館					
3年目	山形市立病院済生館						日本海総合病院					
4年目	山形県立新庄病院						東北大学病院					
5年目	山形大学医学部附属病院											

●取得可能なサブスペシャリティ

脳血管内治療専門医(日本脳神経血管内治療学会認定)、脳卒中専門医(日本脳卒中学会認定)

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：
 - ・健康診断年1回実施
 - ・入居可能住宅有り
 - ・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用
 - ・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：4名
- 応募期間：2025年度10月頃（予定）
- 選考方法：面接等

●問合せ先

- 担当者：山田裕樹
- TEL：023-628-5349/FAX：023-628-5351
- E-mail：nounge@mws.id.yamagata-u.ac.jp/HP：http://www.id.yamagata-u.ac.jp/NeuroSurge/NeuroS-j.html

山形大学医学部附属病院放射線科専門研修プログラム

●プログラムの特色

放射線診断専門医または放射線治療専門医の育成の前段階として、放射線診断専門医および放射線治療専門医のいずれにも求められる放射線科全般に及ぶ知識と経験を一定レベル以上に有する「放射線科専門医」を育成することを目的としています。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院	連携	山形県立新庄病院
連携	公立置賜総合病院	連携	鶴岡市立荘内病院	連携	東北中央病院
連携	日本海総合病院	連携	米沢市立病院	連携	山形市立病院済生館
連携	山形済生病院	連携	脳神経疾患研究所附属 南東北病院	連携	放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター病院

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	放射線診断(大学病院CT、MRI、核医学、PET、IVR)						放射線治療(大学病院)					
2年目	連携施設で放射線診断・治療の研修											
3年目	山形大学医学部附属病院での放射線診断・治療の研修											

●取得可能なサブスペシャリティ

放射線診断専門医、放射線治療専門医(日本医学放射線学会・日本専門医機構認定)のほか、核医学専門医(日本核医学会認定)、IVR専門医(日本IVR学会認定)

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員(年俸制)又は助教
- 給与：与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施
・入居可能住宅有り
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用
・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：10名
- 応募期間：2025年度9月頃(予定)
- 選考方法：書類審査および面接

●問合せ先

- 担当者：桐井一邦
- TEL：023-628-5386/FAX：023-628-5389
- E-mail：radioyamagata@mws.id.yamagata-u.ac.jp/HP：http://main.radonco-yamagata-u.jp/

山形大学医学部附属病院麻酔科専門研修プログラム

●プログラムの特色

- ・麻酔科専門研修のみならず、サブスペシャリティー領域の研修や、学位取得などの学術活動への支援を行い、付加価値の高い麻酔科専門医の育成を目指しています。
- ・幅広い知識・技能とともに優れたコミュニケーション能力を有し、リーダーシップがとれる人材の育成を目指しています。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院	連携	山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院
連携	山形県立新庄病院	連携	鶴岡市立荘内病院	連携	山形市立病院済生館
連携	東北中央病院	連携	済生会山形済生病院	連携	宮城県立こども病院
連携	米沢市立病院	連携	公立置賜総合病院	連携	東京医科大学病院
連携	北海道大学病院	連携	札幌医科大学附属病院		

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	手術麻酔に必要な手技と知識を修得し、上級医の指導のもと、リスクのない症例の定時手術の周術期管理を行うことができる。											
2年目	上級医の指導のもと、全身状態の悪い症例や緊急手術症例の周術期管理を行うことができる。											
3年目	上級医の指導のもと、心臓外科手術、胸部外科手術、脳神経外科手術、帝王切開手術、小児手術など、特殊症例の周術期管理を行うことができる。また、ペインクリニック、集中治療など関連領域の知識・技能を修得する。											
4年目	3年目の経験をさらに発展させ、さまざまな症例の周術期管理を行うことができる。難易度の高い症例、緊急症例などは上級医の指導を受けるが、リスクのない症例は単独で周術期管理が行える。											

●取得可能なサブスペシャリティ

集中治療専門医(日本集中治療医学会認定)、ペインクリニック専門医(日本ペインクリニック学会認定)、日本心臓血管麻酔専門医(日本心臓血管麻酔学会認定)、呼吸療法専門医(日本呼吸療法医学会認定)

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施
・入居可能住宅有り
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用
・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：5名
- 応募期間：2025年10月1日より（予定）
- 選考方法：書類審査、面接

●問合せ先

- 担当者：岡田真行
- TEL：(023)628-5400/FAX：(023)628-5402
- E-mail：masuikayamagata@gmail.com/HP：http://www.anesth-yamagata-u.com/

山形県・山形大学医学部病理専門研修プログラム

●プログラムの特色

- ①山形県内の主要な病院が全て参加し、県内病理医の総力を結集したプログラムです。
- ②病理医として成長していくための環境を整備しています。病理専門医になる為の豊富な症例(剖検を含む)、領域に精通した指導医、多くの診療科との臨床病理カンファレンスを整えています。また、テレパソロジーの活用と学生表彰受賞者輩出の実績を元に病理学会総会などへの積極的な参加と論文執筆を推進します。
- ③当院は「がんゲノム医療拠点病院」に認定されており、エキスパートパネルと呼ばれる専門家会議に参加可能です。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	鶴岡協立病院	連携	山形県立河北病院
連携	山形市立病院済生館	連携	公立置賜総合病院	連携	山形県立中央病院
連携	鶴岡市立荘内病院	連携	山形県立新庄病院	連携	済生会山形済生病院
連携	米沢市立病院	連携	三友堂病院	連携	北村山公立病院

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	初期研修：山形大学医学部附属病院および関連病院											
2年目	初期研修：山形大学医学部附属病院および関連病院											
3年目	後期研修：基幹施設+連携施設2群・3群(週1日)											
4年目	後期研修：基幹施設+連携施設2群・3群(週1日)											
5年目	後期研修：基幹施設+連携施設2群・3群(週1日)											

●取得可能なサブスペシャリティ

細胞診専門医(日本臨床細胞学会認定)、分子病理専門医(日本病理学会認定)、病理専門医(日本病理学会認定)、死体解剖資格(厚生労働省認定)

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員(年俸制)又は助教
- 給与：与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施
・入居可能住宅有り
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用
・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：2名
- 応募期間：初期研修の後半(2025年10月頃～)
- 選考方法：書類審査と面接など

●問合せ先

- 担当者：二口 充
- TEL：023-628-5238/FAX：023-628-5240
- E-mail：futakuch@med.id.yamagata-u.ac.jp

やまがた未来志向型救急医養成専門研修プログラム

●プログラムの特色

重症度に応じて迅速かつ安全に急性期疾患の診断治療が進められる標準的救急医をめざし、急性期診療はもちろんのこと、病院前から地域医療連携並びに災害時救援活動にも関与し研鑽を積んでいくプログラムです。山形県内のすべての救命救急センター・地域中核病院と連携しているだけでなく、先進的な救命医療を学べる山形県外の救命救急センターとも多く連携しており、専攻医のニーズに応じた研修を組むことが可能です。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院	連携	公立置賜総合病院
連携	日本海総合病院	連携	東北大学病院（宮城県）	連携	山口大学医学部附属病院
連携	岐阜大学医学部附属病院	連携	会津中央病院（福島県）	連携	福山市民病院（広島県）
連携	市立札幌病院（北海道）	連携	日本医科大学付属病院	関連	山形市立病院済生館
関連	山形県立新庄病院	関連	北村山公立病院	関連	米沢市立病院
関連	鶴岡市立荘内病院				

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	基幹施設（12ヶ月以上：6ヶ月×2、2・3年目も可）											
2年目	連携施設、関連施設（1施設3ヶ月または6ヶ月を自由に組み合わせて合計24ヶ月以内）											
3年目												

※専門医試験 4年目に受験可能

●取得可能なサブスペシャリティ

集中治療専門医（日本集中治療医学会認定）、熱傷専門医（日本熱傷学会認定）、呼吸療法専門医（日本呼吸療法医学会認定）ほか

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による地域基幹病院への診療応援による収入あり
- 福利厚生：・健康診断年1回実施
・入居可能住宅有り
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用
・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：4名（12名／3年）
- 応募期間：日本専門医機構ホームページをご参照ください
- 選考方法：面接（応募者多数の場合は試験有り）

●問合せ先

- 担当者：小林忠宏
- TEL：023(628)5422／FAX：023(628)5423
- E-mail：qqc@mws1.id.yamagata-u.ac.jp／HP：http://www.id.yamagata-u.ac.jp/QQ-IGAKU/QQ/

山形大学医学部附属病院形成外科専門研修プログラム

●プログラムの特色

山形大学は大学病院でありながら地域の中核病院としての役割を担っているため、全ての疾患群について学ぶことができます。中でも、先天異常、悪性腫瘍切除後の即時再建、熱傷の急性期治療および瘢痕・瘢痕拘縮に対する治療、レーザー治療を多く学ぶことができ、連携施設では特に外傷、腫瘍、難治性潰瘍などを多く学ぶことができます。双方で研修することによりそれぞれの特徴を生かした症例や技能を広く学ぶことができます。また、栃木県の獨協医科大学病院とは基幹施設でありながら、双方の合意のもと、山形大学形成外科の連携研修施設としても登録がなされています。こちらは北関東最大規模の特定機能病院としてドクターヘリも導入して臨床の最前線を担っており、首都圏の大学病院とは違った総合的な形成外科治療を習得できる大学病院です。小耳症・外耳道閉鎖に対する形態と機能の再建や、顔面神経麻痺に対する総合的形成外科治療、再生医療を視野に入れた抗加齢外科を目指す美容外科治療など、形成外科の中でも専門性の高い分野について学ぶこともできます。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	日本海総合病院	連携	公立置賜総合病院
連携	獨協医科大学病院	連携	獨協医科大学 埼玉医療センター		

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形大学医学部附属病院											
2年目	公立置賜総合病院											
3年目	日本海総合病院											
4年目	獨協医科大学病院											

●取得可能なサブスペシャリティ

形成外科領域専門医(日本形成外科学会・日本専門医機構認定)、熱傷専門医(日本熱傷学会認定)、手外科専門医(日本手外科学会認定)、日本創傷外科学会専門医(日本創傷外科学会認定)、形成外科指導医(日本形成外科学会認定)、小児形成外科領域指導医(日本形成外科学会認定)、再建・マイクロサージャリー領域指導医(日本形成外科学会)、レーザー領域指導医(日本形成外科学会)

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員(年俸制)又は助教
- 給与：与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施
・入居可能住宅有り
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用
・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：初期研修2年目を修了した、あるいは修了見込みの者
- 募集定員：1学年あたり3名
- 応募期間：2025年8月1日～2025年10月30日
- 選考方法：書類、面接

●問合せ先

- 担当者：形成外科 福田憲翁(ふくだのりお)
- TEL：023-628-5413/FAX：023-628-5416
- E-mail：prs@mws1.id.yamagata-u.ac.jp/HP：http://www.yamagata-u.net/

山形県リハビリテーション科専門研修プログラム

●プログラムの特色

リハビリテーション医学・医療の視点から、様々な疾患によって生じる障害を予防、診断、治療し、身体の機能回復、活動性の向上を通して、患者・障害者の社会復帰を助ける医師をめざします。本研修プログラムは山形大学医学部附属病院を中心に、県内のそれぞれ特色あるリハビリテーション施設・病院をローテーションしながら、リハビリテーション科専門医に求められる知識と臨床技能、診療姿勢、倫理を学ぶことができます。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	至誠堂総合病院	連携	山形市立病院済生館
連携	三友堂リハビリテーションセンター	連携	鶴岡協立リハビリテーション病院	連携	済生会山形済生病院
関連施設	寒河江市立病院	関連施設	山形県立こども医療療育センター		

専門研修プログラム

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形大学医学部附属病院											
2年目	連携病院（例：至誠堂総合病院）									連携病院（例：療育センター）		
3年目	関連病院（例：河北病院）			山形大学医学部附属病院								

●取得可能なサブスペシャリティ

リハビリテーション科専門医（基本領域・日本リハビリテーション医学会認定）、日本リハビリテーション学会認定医（日本リハビリテーション医学会認定）、急性期リハビリテーション学会認定医（予定）（日本急性期リハビリテーション医学会認定）、回復期リハビリテーション学会認定医（予定）（回復期リハビリテーション病棟協会認定）、生活期リハビリテーション学会認定医（予定）（日本生活期リハビリテーション医学会認定）

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員（年俸制）又は助教
- 給与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：
 - ・健康診断年1回実施
 - ・入居可能住宅有り
 - ・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用
 - ・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：3名
- 応募期間：2025年9月から10月末（予定）
- 選考方法：書類選考及び面接

●問合せ先

- 担当者：高窪祐弥（山形大学医学部附属病院リハビリテーション部 副部長）
- TEL：023-628-5355/FAX：023-628-5357
- E-mail：seikei@mws1.id.yamagata-u.ac.jp/HP：https://www1.id.yamagata-u.ac.jp/MIDINFO/clinics/departments/rhb_a.html

山形大学医学部附属病院総合診療専門研修プログラム

●プログラムの特色

本研修プログラムでは、総合診療専門研修I(外来診療・在宅医療中心)、総合診療専門研修II(病棟診療、救急診療中心)、内科、小児科、救急科の5つの必須診療科と選択診療科で3年間の研修を行います。このことにより 1. 包括的統合アプローチ 2. 一般的な健康問題に対する診療能力 3. 患者中心の医療・ケア 4. 連携重視のマネジメント 5. 地域包括ケアを含む地域志向アプローチ 6. 公益に資する職業規範 7. 多様な診療の場に対応する能力 という総合診療専門医に欠かせない7つの資質・能力を効果的に修得することが可能になります。また、基幹施設と連携施設の施設群で行われ、それぞれの特徴を生かした症例や技能を広く、専門的に学ぶことができます。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立河北病院	連携	山形県立新庄病院
連携	公立置賜総合病院	連携	米沢市立病院	連携	小国町立病院
連携	白鷹町立病院	連携	舟山病院		

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形大学医学部附属病院											
2年目	山形大学医学部附属病院(救急科・小児科)						河北病院、新庄病院、公立置賜総合病院、 米沢市立病院のいずれか					
3年目	小国町立病院、白鷹町立病院、舟山病院のいずれか											

●取得可能なサブスペシャリティ

なし

●処遇 ※山形大学医学部附属病院勤務の場合

- 身分：医員(年俸制)又は助教
- 給与：与：国立大学法人山形大学における年俸制の医員に関する規程又は国立大学法人山形大学職員給与規程による
- 福利厚生：・健康診断年1回実施
・入居可能住宅有り
・文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険適用
・労働者災害補償保険適用

●専攻医募集

- 応募資格：卒業後2年間の初期臨床研修を修了、若しくは修了見込みの医師
- 募集定員：年間2名
- 応募期間：日本専門医機構ホームページ参照
- 選考方法：書類選考および面接

●問合せ先

- 担当者：山形大学医学部附属病院卒後臨床研修センター
- TEL：023-628-5017/FAX：023-628-5019
- E-mail：yu-sotsugo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp/HP：http://www.id.yamagata-u.ac.jp/kenshu/

山形県立中央病院内科専門研修プログラム

●プログラムの特色

山形県村山二次医療圏の中心となる急性期病院である山形県立中央病院を基幹施設として、山形県村山二次医療圏、近隣医療圏にある連携施設・特別連携施設を含めた内科専門研修を行う事で山形県の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療を研修します。基本的臨床能力獲得後は、必要に応じた可塑性のある内科専門医として山形県全域を支える内科専門医の育成を担います。

また、山形大学、東北大学及び新潟大学の附属病院との連携による高度な専門性を持つ内科医を目指すことや、地域枠出身者や自治医大出身者など、何らかの義務年限で地域医療へ貢献を担うことを想定した特別連携施設を有するなど、複数のコース別に研修を行うことが可能です。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形県立中央病院	連携	山形大学医学部附属病院	連携	東北大学病院
連携	新潟大学医歯学総合病院	連携	日本海総合病院	連携	公立置賜総合病院
連携	山形県立新庄病院	連携	山形県立河北病院	連携	至誠堂総合病院
連携	仙台医療センター	連携	大阪公立大学医学部附属病院	連携	山形市立病院済生館
特別連携	最上町立最上病院	特別連携	西川町立病院	特別連携	朝日町立病院
特別連携	町立真室川病院	特別連携	小国町立病院	特別連携	白鷹町立病院
特別連携	日本海八幡クリニック	特別連携	町立金山診療所	特別連携	大蔵村診療所

●専門研修ローテーションモデル

①総合内科コース

1年目	県立中央病院
2年目	県立中央病院
3年目	連携施設・特別連携施設

②Subspecialty重点コース

1年目	連携施設・特別連携施設
2年目	連携施設・特別連携施設／県立中央病院6ヶ月
3年目	県立中央病院

③地域医療重点コース

1年目	連携施設・特別連携施設
2年目	県立中央病院
3年目	連携施設・特別連携施設

●①、②、③は例で、ローテーション順や連携施設等への派遣期間は、担当指導医と相談しながら決定していきます

●取得可能なサブスペシャリティ

消化器病、循環器、呼吸器、血液、内分泌代謝、糖尿病、肝臓、感染症、神経内科、消化器内視鏡、がん薬物療法(腎臓、アレルギー、リウマチは取れません)

●処遇 ※県立中央病院勤務の場合

- 身 分：一般職に属する有期限常勤職員
- 給 与：職員の給与に関する条例、規則に基づいて正職員に準じて支給されます。年収約1260万円～(宿日直3回/月、時間外勤務40時間/月、期末勤勉手当を含む)
- 福利厚生：1年間に20日(4月採用の場合は15日)の年次有給休暇、その他休暇の制度があります。

●専攻医募集

- 応募資格：初期研修修了者及び令和8年3月に初期研修修了見込の者
- 募集定員：8名
- 選考方法：面接

●問合せ先

- 担当者：総務課 伊東正人
- TEL：023-685-2626/FAX：023-685-2601
- E-mail：ychubyo@pref.yamagata.jp/HP：https://www.ypch.gr.jp/

山形県立中央病院外科専門研修プログラム

●プログラムの特色

山形県立中央病院外科専門研修プログラムの目的と使命は以下の5点です。

- 1) 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- 2) 専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- 3) 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- 4) 外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
- 5) 外科領域全般からサブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科）またはそれに準じた外科関連領域（乳腺や内分泌領域）の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること



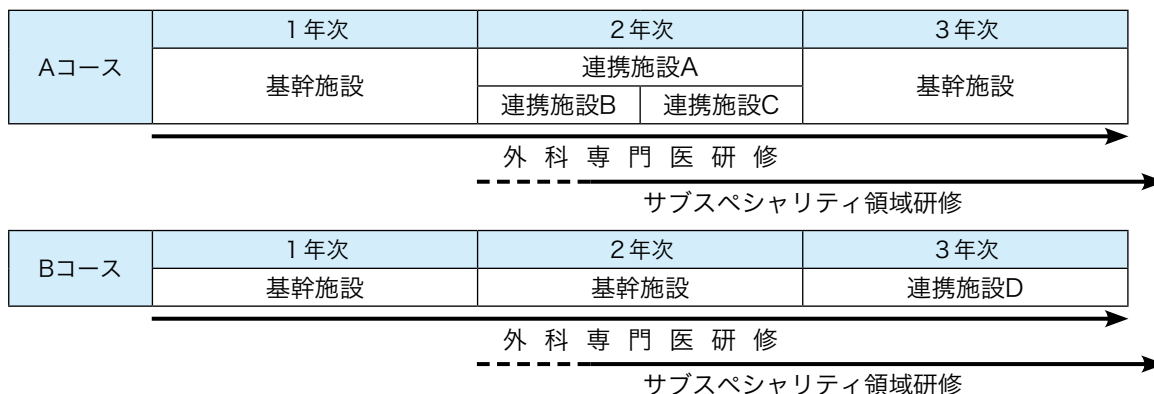
●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形県立中央病院	連携	山形大学医学部附属病院	連携	東北大学病院
連携	山形県立新庄病院	連携	山形県立河北病院	連携	日本海総合病院
連携	仙台オープン病院	連携	鶴岡市立荘内病院	連携	東北医科薬科大学病院

●専門研修ローテーションモデル

いずれのコースも基幹施設で専門研修を開始します。Aコースは2年目に関連施設を1年、あるいは半年ずつ2カ所で研修します。Bコースは最初の2年間で基幹施設で研修し、3年目に関連施設で研修します。

2年間で経験症例が達成（もしくは見込み）できていれば、3年目にはサブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科）あるいは外科関連領域（乳腺など）の専門研修を開始します。



●取得可能なサブスペシャリティ

消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科

●処遇 ※県立中央病院勤務の場合

- 身 分：一般職に属する有期限常勤職員
- 給 与：職員の給与に関する条例、規則に基づいて正職員に準じて支給されます。年収約1260万円～（宿日直3回/月、時間外勤務40時間/月、期末勤勉手当を含む）
- 福利厚生：1年間に20日（4月採用の場合は15日）の年次有給休暇、その他休暇の制度があります。

●専攻医募集

- 応募資格：初期研修修了者及び令和8年3月に初期研修修了見込の者
- 募集定員：3名
- 選考方法：面接

●問合せ先

- 担当者：総務課 伊東正人
- TEL：023-685-2626/FAX：023-685-2601
- E-mail：ychubyo@pref.yamagata.jp/HP：https://www.ypch.gr.jp/

山形県立中央病院麻酔科専門研修プログラム

●プログラムの特色

本研修プログラムは、麻酔科専門医取得のために経験が必須とされている「6才未満の小児手術・帝王切開術・心臓血管外科手術・分離肺換気を要する胸部外科手術・脳神経外科手術」症例のすべてを研修できる、山形県の地域中核病院での麻酔科研修が特徴である。また、当院はがん拠点病院であるほか、山形県総合周産期母子医療センター（MFICU/NICU/GCU）・救命救急センターを併設している。したがって、上記症例に限らず、予定手術・緊急手術の別なく、豊富な種類の手術症例の麻酔管理の研修が可能である。

本院での麻酔科研修では、今後ますます重要性が増す救急・外傷患者の集中治療、産科麻酔管理に加えて周産期管理なども研修できる。これら、救急・集中治療・周産期医療については、一定の期間それぞれの専従医の指導を受けることが出来る。また、この研修期間では、対象患者の入院から手術、術後集中治療管理にいたるまで、一貫して経験することも可能である。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形県立中央病院	連携	山形県立新庄病院	連携	山形大学医学部附属病院
連携	東北大学病院	連携	日本海総合病院	連携	山形市立病院済生館
連携	宮城県立こども病院				

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	麻酔科											
2年目	麻酔科											
3年目	集中治療／救急等院内他科研修／連携病院での研修											
4年目	連携病院(麻酔科、ペインクリニック)											

●取得可能なサブスペシャリティ

集中治療専門医(日本集中治療医学会認定)

●処遇 ※県立中央病院勤務の場合

- 身分：一般職に属する有期限常勤職員
- 給与：職員の給与に関する条例、規則に基づいて正職員に準じて支給されます。年収約1260万円～(宿日直3回／月、時間外勤務40時間／月、期末勤勉手当を含む)
- 福利厚生：1年間に20日(4月採用の場合は15日)の年次有給休暇、その他休暇の制度があります。

●専攻医募集

- 応募資格：初期研修修了者及び令和8年3月に初期研修修了見込の者
- 募集定員：5名
- 選考方法：面接

●問合せ先

- 担当者：総務課 伊東正人
- TEL：023-685-2626／FAX：023-685-2601
- E-mail：ychubyo@pref.yamagata.jp／HP：https://www.ypch.gr.jp/

山形県立中央病院救急科専門研修プログラム

●プログラムの特色

研修の基幹施設である当院（山形県立中央病院）は、ドクターヘリの基地病院であり、また集中治療専門医研修施設でもあります。救急科所属医師14人中、救急科専門医12名をはじめ、集中治療専門医、日本航空医療学会認定指導者、熱傷学会専門医、総合内科専門医、外科学会専門医、麻酔科専門医がおり、ドクターヘリでの病院前診療から、救急救命センターの初療を経て、集中治療を含む病棟管理まで幅広く担当しています。本専門研修プログラムは、各専攻医の希望と習熟度などを考慮し、基幹施設・連携施設のいずれからの研修も開始可能です。基幹領域専門医として救急科専門医取得後には、サブスペシャリティ領域である集中治療医学領域専門研修プログラムに進むことも可能です。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形県立中央病院	連携	山形大学医学部附属病院	連携	日本海総合病院
連携	公立置賜総合病院	連携	山形県立新庄病院	連携	鶴岡市立荘内病院

●専門研修ローテーションモデル

救急診療・集中治療（6ヵ月）
〈基幹施設or連携施設〉

救急診療・他科研修（6ヵ月）
〈連携施設or基幹施設〉

救急診療・集中治療・ドクターヘリ（12ヵ月）
〈基幹施設〉

集中治療室専従（6ヵ月）
〈基幹施設〉

地域研修（3ヵ月）
〈連携施設〉

地域研修（3ヵ月）
〈連携施設〉

自由度の高いプログラムを組む事ができるように配慮しております。
また、基幹施設と連携施設のいずれからでも研修をスタートすることができます。遠慮なくご相談ください。

●取得可能なサブスペシャリティ

（救急科専門医取得後）集中治療科専門医

●処遇 ※県立中央病院勤務の場合

- 身 分：一般職に属する有期限常勤職員
- 給 与：職員の給与に関する条例、規則に基づいて正職員に準じて支給されます。年収約1260万円～（宿日直3回/月、時間外勤務40時間/月、期末勤勉手当を含む）
- 福利厚生：1年間に20日（4月採用の場合は15日）の年次有給休暇、その他休暇の制度があります。

●専攻医募集

- 応募資格：初期研修修了者及び令和8年3月に初期研修修了見込の者
- 募集定員：3名
- 選考方法：面接

●問合せ先

- 担当者：総務課 伊東正人
- TEL：023-685-2626/FAX：023-685-2601
- E-mail：ychubyo@pref.yamagata.jp/HP：https://www.ypch.gr.jp/

山形市立病院済生館内科専門研修プログラム

●プログラムの特色

- ・山形県村山二次医療圏の中心的な急性期病院である当院を基幹施設とし、村山二次医療圏・近隣医療圏並びに宮城県にある連携施設とで内科専門研修を経て地域の医療事情を理解し、実情に合わせた実践的な医療を行い、必要に応じた可塑性のある、地域医療にも貢献できる内科専門医を目指します。
- ・入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで経時的に、診断・治療の流れを通じて、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医の育成を行います。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形市立病院済生館	連携	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院
連携	日本海総合病院	連携	鶴岡市立荘内病院	連携	公立置賜総合病院
連携	米沢市立病院	連携	東北大学病院	連携	仙台市立病院
連携	大崎市民病院	連携	国立病院機構 仙台医療センター		

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形市立病院済生館または連携施設											
2年目	山形市立病院済生館または連携施設											
3年目	山形市立病院済生館または連携施設											

※基幹施設（山形市立病院済生館）で1～2年間、連携施設で1～2年間の研修を行います。各年次のローテーションや研修医療機関は、専攻医と面談の上決定します。

●取得可能なサブスペシャリティ

消化器専門医(日本消化器病学会認定)、循環器専門医(日本循環器学会認定)、呼吸器専門医(日本呼吸器学会認定)
 血液専門医(日本血液学会認定)、腎臓専門医(日本腎臓学会認定)、神経内科専門医(日本神経学会認定)、消化器内視鏡専門医(日本消化器内視鏡学会認定)

●処遇 ※山形市立病院済生館勤務の場合

- 身分：任期付常勤職員
- 給与：月額約680,000円(賞与別途支給、手当は含まない)
賞与、諸手当等あり
※年間概算支給額 約1,300万円～
- 福利厚生：年次有給休暇(20日) その他特別休暇等あり

●専攻医募集

- 応募資格：初期研修修了者及び令和8年3月に初期研修修了見込みの者
- 募集定員：8名
- 応募期間：日本専門医機構のスケジュールに準じる
- 選考方法：書類選考・面接

●問合せ先

- 担当者：黒木実智雄
- TEL：023-625-5555/FAX：023-642-5080
- E-mail：m-kuroki@saiseikan.jp/HP：http://www.saiseikan.jp/

済生会山形済生病院整形外科専門研修プログラム

●プログラムの特色

整形外科専門研修到達目標：「地域医療に貢献できる幅広い知識と視野をもった整形外科医を目指して」当院では、1980年創立以来、整形外科全域にわたる研究・教育・診療体制が整備されています。脊椎、股関節、膝関節、スポーツ医学、上肢、手外科、足の外科、小児整形外科、リウマチ、骨代謝、リハビリテーションなどの診療、診療グループがあり、臨床・研究を進めています。

山形大学医学部整形外科をはじめ、スポーツ医学、手外科、脊椎外科、関節外科、救急医療、リハビリテーションなど、それぞれに特色を持った山形県、宮城県、福島県の18の施設・病院と連携し、機能的なローテーションにより、プライマリケアから最先端の臨床・研究までを学ぶことが出来ます。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	済生会山形済生病院	連携	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院
連携	日本海総合病院	連携	公立置賜総合病院	連携	山形県立新庄病院
連携	山形県立河北病院	連携	山形県立こども医療養育センター	連携	寒河江市立病院
連携	町立真室川病院	連携	公立高畠病院	連携	三友堂病院
連携	みゆき会病院	連携	吉岡病院	連携	泉整形外科病院
連携	枳記念病院	連携	至誠堂総合病院	連携	北村山公立病院

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	済生会山形済生病院											
2年目	山形大学医学部附属病院・公立置賜総合病院など											
3年目	山形大学医学部附属病院・日本海総合病院など											
4年目	山形県立中央病院、県立河北病院など							みゆき会病院、寒河江市立病院な				
5年目	済生会山形済生病院など											

●取得可能なサブスペシャリティ

リウマチ専門医(日本リウマチ学会・日本専門医機構)、脊椎脊髄外科専門医(日本脊椎脊髄学会認定)、手外科専門医(日本手外科学会認定)、日整会認定リウマチ医(日本整形外科学会認定)、日整会認定スポーツ医(日本整形外科学会認定)、日整会認定脊椎脊髄病医(日本整形外科学会認定)、日整会認定脊椎内視鏡下手術・技術認定医(日本整形外科学会認定)、日整会認定運動器リハビリテーション医(日本整形外科学会認定)、リハビリテーション専門医(日本リハビリテーション学会認定)

●処遇 ※山形済生病院勤務の場合

- 身 分：正職員
- 給 与：800,000円(月額)
- 福利厚生：協会健保、厚生年金、労災保険、雇用保険

●専攻医募集

- 応募資格：初期研修を修了した医師
- 募集定員：2名
- 応募期間：令和7年8月1日～10月31日
- 選考方法：書類審査、面接

●問合せ先

- 担当者：人事課(医局秘書) 足立和子
- TEL：023-682-1111/FAX：023-682-0122
- E-mail：rin-ken@ameria.org/HP：http://www.ameria.org/

さくらば総合診療専門研修プログラム

●プログラムの特色

当院は、山形市中心部の山形城址(霞城公園)と美術館に隣接した美しい自然環境と文化施設に恵まれた場所に位置しています。大学病院をはじめとする総合病院に囲まれながら、一貫して地域医療・高齢者医療に取り組んでまいりました。山形県の訪問看護ステーション第1号を開設し、訪問診療と併せて在宅医療にも積極的に取り組んでおります。住民健診など保健予防活動の歴史も長く、法人内には3つの診療所、老人保健施設、地域包括支援センターなど、医療・介護の複合型の施設を展開しており、これら全てが研修の場ともなります。小児から高齢者まで家族ぐるみの健康管理を行い、家庭医療を学ぶには最適な施設体系を有しています。当院の医局は毎日の医局朝会・週1回の医局会議・学習会など各科の医師の連携も良いです。整形外科系の研修もバランスよく組み込むことも可能であり、救急は二次救急で一定の救急の経験が可能となっています。小児科・救急科は、山形県立中央病院や公立置賜総合病院等で小児を含む全科の救急・小児疾患を幅広く経験できます。その他、無料低額診療事業を実施し、差額ベッドが無いなど弱者に寄り添った医療実践を行っていることが特徴として挙げられます。地域包括ケア時代、地域をフィールドに住民の健康を守る医療介護福祉活動を推進できる医師養成を目指しております。また、新・家庭医療専門研修(プライマリ・ケア連合学会認定)も総合診療専門研修と連動して研修可能であり、総合診療専門研修と合わせて4年間の研修期間で、新・家庭医療専門医の取得が可能です。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	至誠堂総合病院	連携	至誠堂総合病院附属 中山診療所	連携	医療生協やまがた 鶴岡協立病院
連携	山形県立中央病院	連携	宮城厚生協会 坂総合病院	連携	松島医療生協 松島海岸診療所
連携	社会医療法人二本松会 山形さくら町病院	連携	医療法人社団健友会 本間病院	連携	公立置賜総合病院
連携	医療生協やまがた しろにし診療所				

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
後期研修 1年目	至誠堂総合病院											
	総合診療専門研修Ⅱ											
後期研修 2年目	至誠堂総合病院						山形県立中央病院または公立置賜 総合病院または坂総合病院			山形県立中央病院または公立置賜 総合病院または坂総合病院		
	内科						小児科			救急科		
後期研修 3年目	至誠堂総合病院または鶴岡協立病院						中山診療所またはしろにし診療所 または松島海岸診療所または本間病院					
	総合診療専門研修Ⅱ						総合診療専門研修Ⅰ					

●取得可能なサブスペシャリティ

新・家庭医療専門医(日本プライマリ・ケア連合学会)

●処遇 ※至誠堂総合病院勤務の場合

- 身分：正職員
- 給与：年収約1,200万円～
(宿日直手当、住宅手当等含む)
- 福利厚生：社会保険等、医師賠償保険(病院において加入)
年次有給休暇の他、年間5日のリフレッシュ休暇等

●専攻医募集

- 応募資格：臨床研修修了者または修了見込み者
- 募集定員：2名
- 応募期間：日本専門医機構募集期間に準ずる
- 選考方法：書類審査、面接

●問合せ先

- 担当者：医局事務 渡辺正巳
- TEL：023-622-7181/FAX：023-642-8101
- E-mail：ikyokujimu@shiseido-hp.jp/HP：http://www.shiseido-hp.jp/

山形県立河北病院総合診療専門研修プログラム

●プログラムの特色

山形県立河北病院総合診療専門研修プログラムは、地域の小病院を基幹にした研修プログラムです。

12～18ヶ月は当院の総合診療科で研修を行い、総合診療医としての基礎力（総合内科としての経験・家庭医療の思考回路）を身につけます。3年間の研修で、生涯学び続け成長し続けられる医師となれるように振り返り・カンファレンスを継続して行っていきます。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形県立河北病院	連携	山形県立中央病院	連携	公立置賜総合病院
連携	朝日町立病院	連携	西川町立病院	連携	小国町立病院
連携	大蔵村診療所				

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科：県立河北病院 内科（総合診療）1年間											
2年目	小児科・救急：公立置賜総合病院もしくは県立中央病院3ヶ月ずつ 総診Ⅱ：県立河北病院もしくは公立置賜総合病院6ヶ月											
3年目	総診Ⅰ：朝日町立病院、西川町立病院、小国町立病院、大蔵村診療所より選択 1年間											

●取得可能なサブスペシャリティ

新家庭医療専門医（日本プライマリ・ケア連合学会）

病院総合診療専門医・地域総合診療専門医が取得できるよう準備中です。

●処遇 ※県立河北病院勤務の場合

- 身 分：一般職に属する有期限常勤職員
- 給 与：職員の給与に関する条例、規則に基づいて正職員に準じて支給されます。年収約1,260万円～（宿日直3回/月、時間外勤務40時間/月、期末勤勉手当を含む）
- 福利厚生：1年間に20日（4月採用の場合は15日）の年次有給休暇、その他休暇の制度があります。

●専攻医募集

- 応募資格：医師臨床研修を修了した（又は修了予定の）者
- 募集定員：2名
- 応募期間：別途お知らせします。
- 選考方法：面接

●問合せ先

- 担当者：総務課 村岡
- TEL：0237-73-3131/FAX：0237-73-4506
- E-mail：ykabyo@pref.yamagata.jp/HP：https://kahoku-hospital.jp/

山形県立新庄病院総合診療専門研修プログラム

●プログラムの特色

当院は最上二次医療圏で唯一の中核病院となっており、幅広い世代を含む外来・入院診療および地域包括ケアの研修が可能です。

また、内科系患者の多くは複数の慢性疾患を有し専門的治療の介入が困難な高齢者であり、高齢化の進行した最上地方では、慢性疾患患者への継続的ケアが一層必要となっています。このような地域ニーズに応える医師の育成を目指します。

さらに、近隣の町・村の連携施設においては、在宅医療や保健・福祉分野との連携など、地域包括ケアの実態を学ぶことが可能です。

令和5年10月に新築移転し、最上地域で初の地域救命救急センターを設置し、更にドクターヘリの発着場も敷地内に整備して、迅速な救急医療の提供を可能としています。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形県立新庄病院	連携	町立真室川病院	連携	最上町立最上病院
連携	町立金山診療所	連携	大蔵村診療所		

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総診II(新庄病院・3か月) 内科(新庄病院・9か月)											
2年目	内科(新庄病院・3か月) 救急科(新庄病院・3か月) 総診Iまたは総診II(6か月)											
3年目	総診I(最上地域の連携機関・6か月) 小児科(新庄病院・3か月) 総診II(新庄病院・3か月)											

●取得可能なサブスペシャリティ

なし

●処遇 ※県立新庄病院勤務の場合

- 身分：一般職に属する有期限常勤職員
- 給与：正職員に準じ支給
扶養手当、住居手当、通勤手当、期末勤勉手当等支給
年収約1,260万円～
- 福利厚生：休暇は一般職に準じる
社会保険加入、医師賠償保険加入
医師アパート有

●専攻医募集

- 応募資格：医師臨床研修を修了した（または修了予定の）者
- 募集定員：2名
- 応募期間：別途お知らせします。
- 選考方法：面接

●問合せ先

- 担当者：総務課 臨床研修係
- TEL：0233-22-5525/FAX：0233-23-2987
- E-mail：yshinbyo-shomu1@pref.yamagata.jp/HP：http://www.ysh.pref.yamagata.jp/

公立置賜総合病院総合診療専門研修プログラム

●プログラムの特色

本研修PGでは、「患者中心の地域包括ケアの達人をめざして！」をスローガンに掲げ、全人的、包括的な医療を実施できる医療人の育成を行います。優れた総合診療専門医を養成する研修プログラムは、さまざまなシチュエーションが経験でき、幅広い領域をまんべんなく研修できるようにコーディネートされたものである必要があります。総合診療科での外来・入院診療、サテライト施設や近隣の診療所・中小病院、各専門診療科では、日常疾患の初期診療から高度化・専門分化したそれぞれの最先端の医療を、患者に寄り添いながら地域の特性や問題点の把握などを実践し自ら考えて自ら行動する医療を実践します。高いレベルの臨床能力を備えた総合診療専門医を本気で養成します。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	公立置賜総合病院	連携	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院
連携	山形県立河北病院	連携	最上町立最上病院	連携	町立真室川病院
連携	小国町立病院	連携	西川町立病院	連携	朝日町立病院
連携	白鷹町立病院	連携	公立高畠病院	連携	大蔵村診療所
連携	生協浮間診療所	連携	多摩北部医療センター	連携	公立置賜南陽病院

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	公立置賜総合病院											
	小児科			内科						救急科		
2年目	公立置賜総合病院						公立置賜総合病院					
	内科						総合診療研修II					
3年目	朝日町立病院											
	総合診療研修I											

●処遇 ※公立置賜総合病院勤務の場合

- 身分：一般職員
- 給与：「置賜広域病院企業団の給与の種類及び基準に関する条例」による
- 福利厚生：共済組合に加入(保険、年金等)
公務災害補償、院内保育所、公舎あり

●専攻医募集

- 応募資格：医師臨床研修を令和8年3月末に修了予定の医師
- 募集定員：2名
- 応募期間：日本専門医機構のスケジュールに準ずる
- 選考方法：書類選考及び面接

●問合せ先

- 担当者：総務課 職員係
- TEL：0238-46-5000/FAX：0238-46-5711
- E-mail：shokuin@okitama-hp.or.jp/HP：http://www.okitama-hp.or.jp/

日本海総合病院内科専門研修プログラム

●プログラムの特色

当院は山形県庄内医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病診・病病連携の中核であります。一方で、地域に根ざす第一線の病院でもあり、コモンディジーズの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所・クリニック（在宅訪問診療施設などを含む）との病診連携も経験できます。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	日本海総合病院	連携	山形大学医学部附属病院	連携	東北大学病院
連携	東北医科薬科大学病院(申請中)	連携	秋田大学医学部附属病院	連携	福島県立医科大学附属病院
連携	東京大学医学部附属病院	連携	国立国際医療センター	連携	仙台厚生病院
連携	けいゆう病院	連携	榊原記念病院	連携	大阪医科薬科大学病院
連携	北摂総合病院	連携	山形県立中央病院	連携	山形市立病院済生館
連携	山形県立新庄病院	連携	公立置賜総合病院	連携	鶴岡市立荘内病院
連携	那覇市立病院(申請中)	連携	健友会本間病院	特別連携	日本海酒田リハビリテーション病院
特別連携	酒井醫院	特別連携	ほんまクリニック	特別連携	鶴岡協立病院
特別連携	日本海八幡クリニック	特別連携	朝日町立病院	特別連携	西川町立病院
特別連携	最上町立最上病院	特別連携	町立真室川病院	特別連携	白鷹町立病院
特別連携	小国町立病院				

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	日本海総合病院 (呼吸器内科)	日本海総合病院 (血液内科)	日本海総合病院 (神経内科)	日本海総合病院 (循環器内科)	日本海総合病院 (循環器内科)	日本海総合病院 (循環器内科)	日本海総合病院 (循環器内科)	日本海総合病院 (循環器内科)	日本海総合病院 (循環器内科)	日本海総合病院 (循環器内科)	日本海総合病院 (循環器内科)	日本海総合病院 (循環器内科)
2年目	日本海総合病院(循環器内科)											
3年目	連携施設											

※ローテーション順や連携施設等への派遣期間については、担当指導医と相談して決定しております。

●取得可能なサブスペシャリティ

呼吸器専門医、内分泌代謝・糖尿病内科領域専門医、腎臓専門医、リウマチ専門医、循環器専門医、心血管カテーテル治療専門医、不整脈専門医、超音波専門医、新エコー図専門医、消化器病専門医、消化器内視鏡専門医、肝臓専門医、神経内科専門医

●処遇 ※日本海総合病院勤務の場合

- 身分：正職員
- 給与：年収約1,300万円～(令和6年度実績)
- 福利厚生：
 - ・赴任費用(引越費用：上限有)支給
 - ・個人用机とキャビネットを医局内に配置
 - ・世帯用宿舍あり。単身者には、住宅補助制度あり

●専攻医募集

- 応募資格：医師免許取得後、厚生労働省が定める2年間の初期臨床研修を修了した者、あるいは令和8年3月末日までに修了見込みの者
- 募集定員：10名
- 応募期間：日本専門医機構のスケジュールに準ずる
- 選考方法：面接及び書類選考

●問合せ先

- 担当者：日本海総合病院 総務課 職員係 齋藤
- TEL：0234-26-2001/FAX：0234-26-5114
- E-mail：kensyu@nihonkai-hos.jp/HP：http://www.nihonkai-hos.jp/hospital/

日本海総合病院外科専門研修プログラム

●プログラムの特色

日本海総合病院を基幹施設とし、大学病院や地域の連携施設とともに病院施設群を構成しています。当院は山形県庄内医療圏の中心的な急性期病院であり、多くの症例を経験することができます。また、地域の中核病院として外科領域のコモンディーズや外科救急疾患も広く研修が可能です。施設群をローテーションすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行い、専門医取得に必要な経験を積むことが可能です。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	日本海総合病院	連携	山形大学医学部附属病院	連携	東北大学病院
連携	山形県立中央病院	連携	東北医科薬科大学病院	連携	鶴岡市立荘内病院

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	日本海総合病院											
2年目	日本海総合病院											
3年目	日本海総合病院						連携施設A					

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	日本海総合病院											
2年目	日本海総合病院											
3年目	連携施設B						連携施設C					

●取得可能なサブスペシャリティ

消化器外科専門医、呼吸器外科専門医、食道外科専門医、心臓血管外科専門医、乳腺外科専門医

●処遇 ※日本海総合病院勤務の場合

- ◎身分：正職員
- ◎給与：年収約1,300万円～(令和6年度実績)
- ◎福利厚生：
 - ・赴任費用(引越費用：上限有)支給
 - ・個人用机とキャビネットを医局内に配置
 - ・世帯用宿舎あり。単身者には、住宅補助制度あり

●専攻医募集

- ◎応募資格：医師免許取得後、厚生労働省が定める2年間の初期臨床研修を修了した者、あるいは令和8年3月末日までに修了見込みの者
- ◎募集定員：2名
- ◎応募期間：日本専門医機構のスケジュールに準ずる
- ◎選考方法：面接及び書類選考

●問合せ先

- ◎担当者：日本海総合病院 総務課 職員係 齋藤
- ◎TEL：0234-26-2001/FAX：0234-26-5114
- ◎E-mail：kensyu@nihonkai-hos.jp/HP：http://www.nihonkai-hos.jp/hospital/

日本海総合病院産婦人科専門研修プログラム

●プログラムの特色

基幹施設である当院においては、豊富な症例を経験し、産婦人科全般の標準的、基礎的な技量を習得できます。また、地域医療を担う連携施設では地域の実情に合わせた実践的な医療を、より先進的な医療を担う連携施設ではより専門的な技量を習得できます。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	日本海総合病院	連携	山形大学医学部附属病院	連携	山形県立中央病院
連携	済生会山形済生病院	連携	公立置賜総合病院	連携	米沢市立病院
連携	山形県立新庄病院				

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	日本海総合病院											
2年目	連携施設A							日本海総合病院				
3年目	連携施設B											

●処遇 ※日本海総合病院勤務の場合

- ◎身分：正職員
- ◎給与：年収約1,300万円～(令和6年度実績)
- ◎福利厚生：
 - ・赴任費用(引越費用：上限有)支給
 - ・個人用机とキャビネットを医局内に配置
 - ・世帯用宿舍あり。単身者には、住宅補助制度あり

●専攻医募集

- ◎応募資格：医師免許取得後、厚生労働省が定める2年間の初期臨床研修を修了した者、あるいは令和8年3月末日までに修了見込みの者
- ◎募集定員：4名
- ◎応募期間：日本専門医機構のスケジュールに準ずる
- ◎選考方法：面接及び書類選考

●問合せ先

- ◎担当者：日本海総合病院 総務課 職員係 齋藤
- ◎TEL：0234-26-2001/FAX：0234-26-5114
- ◎E-mail：kensyu@nihonkai-hos.jp/HP：http://www.nihonkai-hos.jp/hospital/

日本海総合病院麻酔科専門研修プログラム

●プログラムの特色

本研修プログラムでは、専門研修基幹施設である山形県庄内医療圏の中心的な急性期病院の日本海総合病院、山形県内にある専門研修連携施設である山形大学医学部附属病院、鶴岡市立荘内病院が地域においてどのような役割を果たしているかを体験することができる。日本心臓血管麻酔学会専門医認定基幹施設であり庄内地域で唯一の三次救急医療機関での研修が特徴である。これらの中で専攻医に整備指針に定められた麻酔科研修カリキュラムの到達目標を達成できる教育を提供し、幅広く十分な知識と技術を備えた麻酔科専門医の育成を目指す。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	日本海総合病院	連携	山形大学医学部附属病院	連携	鶴岡市立荘内病院
連携	東北大学病院	連携	東北医科薬科大学病院	連携	山形県立中央病院
連携	宮城県立こども病院				

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	日本海総合病院											
2年目	日本海総合病院											
3年目	連携施設											
4年目	鶴岡市立荘内病院						連携施設					
	連携施設						鶴岡市立荘内病院					

●取得可能なサブスペシャリティ

集中治療専門医、心臓血管麻酔専門医

●処遇 ※日本海総合病院勤務の場合

- 身分：正職員
- 給与：年収約1,300万円～(令和6年度実績)
- 福利厚生：
 - ・赴任費用(引越費用：上限有)支給
 - ・個人用机とキャビネットを医局内に配置
 - ・世帯用宿舍あり。単身者には、住宅補助制度あり

●専攻医募集

- 応募資格：医師免許取得後、厚生労働省が定める2年間の初期臨床研修を修了した者、あるいは令和8年3月末日までに修了見込みの者
- 募集定員：3名
- 応募期間：日本専門医機構のスケジュールに準ずる
- 選考方法：面接及び書類選考

●問合せ先

- 担当者：日本海総合病院 総務課 職員係 齋藤
- TEL：0234-26-2001/FAX：0234-26-5114
- E-mail：kensyu@nihonkai-hos.jp/HP：http://www.nihonkai-hos.jp/hospital/

鶴岡協立病院総合診療専門研修プログラム

●プログラムの特色

鶴岡協立病院は医療生活協同組合やまがた（以下、医療生協やまがた）を母体にもち、同法人内に鶴岡協立リハビリテーション病院、四つの診療所、訪問看護ステーション、メディカルフィットネス、老健施設、デイケア、デイサービス、グループホーム、小規模多機能施設を有し医療から介護まで切れ目ない活動を行っております。また、医療生協やまがたは地域の4万人の組合員に支えられ、組合員の保険予防活動、健康増進活動など長く元気に暮らしたいという願いを実現するために共同の営みとして活動しています。

鶴岡協立病院総合診療専門研修プログラムは、そのような医療・介護活動を展開する地域の中規模病院を基幹施設として、院内の専門各科と協力し全人的医療を展開しつつ、自らのキャリアパスの形成や地域医療に携わる実力を身につけることを目標とします。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	鶴岡協立病院	連携	至誠堂総合病院	連携	至誠堂総合病院附属 中山診療所
連携	本間病院	連携	日本海総合病院		

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科研修12ヶ月分(至誠堂総合病院)											
2年目	総合診療専門研修Ⅱ 12ヶ月(鶴岡協立病院)											
3年目	小児科 3ヶ月 (鶴岡協立病院または 日本海総合病院)			救急科 3ヶ月 (日本海総合病院)			総合診療Ⅰ 6ヶ月 (本間病院または至誠堂総合病院附属中山診療所)					

●取得可能なサブスペシャリティ

なし

●処遇 ※鶴岡協立病院勤務の場合

- 身分：正職員
- 給与：医師免許取得後3年目：705,200円(月額)
- 福利厚生：健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、退職金制度、院内保育所、医師賠償保険は病院にて加入

●専攻医募集

- 応募資格：初期臨床研修修了者または2026年3月修了見込み者
- 募集定員：2名
- 応募期間：新専門医機構に準ずる
- 選考方法：面接

●問合せ先

- 担当者：五十嵐・小松
- TEL：0235(23)6060/FAX：0235(23)6114
- E-mail：hisyo1@shonai-mcoop.jp/HP：http://y-mcoop.com/hospital/

山形県立こころの医療センター総合診療専門研修プログラム

●プログラムの特色

山形県立こころの医療センターを研修基幹施設とし、山形大学医学部附属病院精神科(山形市)、日本海総合病院精神科(酒田市)、東北会病院(仙台市)、三川病院(三川町)、沖縄県立精和病院(沖縄県)、東京医科大学病院(東京都)を研修連携施設として研修群を構成し実施します。

急性期から慢性期、乳幼児から老年期、任意入院から措置入院、更には医療観察法の入院までとほぼ全ての精神科臨床領域を網羅的に研修できるプログラムです。精神科医としての幅広い臨床経験が積めるうえ、精神科医療を包括的に捉える視点が自然と身につきます。



●研修施設

施設別	病院名	施設別	病院名	施設別	病院名
基幹	山形県立こころの医療センター	連携	日本海総合病院精神科	連携	山形大学附属病院精神科
連携	東北会病院	連携	三川病院	連携	沖縄県立精和病院
連携	東京医科大学病院				

●専門研修ローテーションモデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	山形県立こころの医療センター											
2年目	日本海総合病院精神科											
3年目	山形大学医学部附属病院精神科または東京医科大学病院						基幹施設及び連携施設のうち希望する病院					

●取得可能なサブスペシャリティ

- ・日本児童青年精神医学会認定医(日本児童青年精神医学会認定)・日本司法精神医学会認定医(日本司法精神医学会認定)
- ・日本精神科救急学会認定医(日本精神科救急学会認定)・日本総合病院精神医学会専門医(日本総合病院精神医学会認定)
- ・日本老年精神医学会専門医(日本老年精神医学会認定)

●処遇 ※山形県立こころの医療センター勤務の場合

- ◎身分：山形県職員
 - ◎給与：山形県病院事業局給与規程による
 - ◎福利厚生：休暇等は山形県病院事業局就業規程による
- ※詳細は下記までお気軽にお問合せください。

●専攻医募集

- ◎応募資格：医師免許取得後、2年以上の臨床経験を有すること
- ◎募集定員：5名
- ◎応募期間：令和7年10月～(予定)
- ◎選考方法：面接、集団討論 等

●問合せ先

- ◎担当者：山形県立こころの医療センター 総務経営課 総務専門員 上野千穂
- ◎TEL：0235-64-8100/FAX：0235-24-1283
- ◎E-mail：ycocoro@pref.yamagata.jp HP：https://cocorohosp-yamagata.jp/ リクルートサイト：https://cocoro-mc.jp/

医師修学資金貸与制度

県内の公立の病院等に一定の期間勤務すれば、
修学資金の返還が免除になります。

区分	貸与額	対象者	返還免除要件
地域医療従事医師確保修学資金	200万円 (年額)	以下の要件を満たす医学生 ○大学卒業後、山形県内の 医師の確保が必要な地域 に勤務する意思を有していること 県内出身者対象 県外出身者対象	①医師免許を取得した後、直ちに県内臨床研修病院で臨床研修を行うこと ②臨床研修修了後、引き続き山形県内の公立の病院等に勤務した場合において、臨床研修を含む在職期間が、 貸与期間の1.5倍 (7年に満たないときは7年)に達すること ③当該在職期間のうち 4年以上 (貸与期間の1.5倍の期間が9年に満たないときは、3年6月以上)の 期間が、医師少数区域等の医療機関等に在職した期間 であること ④山形県の定めるキャリア形成プログラム及びキャリア形成卒前支援プランの適用に同意すること
特定診療科医師確保修学資金	200万円 (年額)	以下の要件を満たす医学生 ○大学卒業後、山形県内の 医師の確保が必要な診療科 (小児科・産婦人科・放射線科・麻酔科・救急医療)に勤務する意思を有していること 県内出身者対象 県外出身者対象	①医師免許を取得した後、直ちに県内臨床研修病院で臨床研修を行うこと ②臨床研修修了後、引き続き山形県内の公的な医療機関の 特定診療科 に勤務した場合において、臨床研修を含む在職期間が、 貸与期間の1.5倍 (7年に満たないときは7年)に達すること ③当該在職期間のうち 4年以上 (貸与期間の1.5倍の期間が9年に満たないときは、3年6月以上)の 期間が、医師少数区域等の医療機関の特定診療科に在職した期間 であること ④山形県の定めるキャリア形成プログラム及びキャリア形成卒前支援プランの適用に同意すること

お問い合わせ

山形県健康福祉部医療政策課

T E L : 023-630-3159

E-mail : ishikakuho@pref.yamagata.jp

詳しくは **山形県医師確保**

検索



山形県内の研修病院 2026年度版
編集・発行 山形県医療政策課 2025年5月発行